

平成20年度 全国学力・学習状況調査 報告書のポイント

○調査の概要

(1) 調査の目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる

(2) 調査の対象学年

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、中等教育学校第3学年、特別支援学校中学部第3学年

(3) 調査の内容

①教科に関する調査

| 主として「知識」に関する問題 [国語A、算数・数学A] | 主として「活用」に関する問題 [国語B、算数・数学B] |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など | <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容 <p style="text-align: right;">など</p> |

②生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査 | 学校に対する調査 |
|------------------------------|------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 |

(4) 調査日時

平成20年4月22日(火)

(5) 4月22日に調査を実施した学校・児童生徒数

【小学校調査】

| | 対象学校数 | 学校数(実施率) | 児童数 |
|------|---------|----------------|------------|
| 公立学校 | 21,718校 | 21,685校(99.8%) | 1,147,633人 |
| 国立学校 | 76校 | 76校(100.0%) | 7,567人 |
| 私立学校 | 187校 | 88校(47.1%) | 5,315人 |
| 合計 | 21,981校 | 21,849校(99.4%) | 1,160,515人 |

【中学校調査】

| | 対象学校数 | 学校数(実施率) | 生徒数 |
|------|---------|----------------|------------|
| 公立学校 | 10,191校 | 10,121校(99.3%) | 1,029,104人 |
| 国立学校 | 81校 | 79校(97.5%) | 10,791人 |
| 私立学校 | 701校 | 374校(53.4%) | 36,374人 |
| 合計 | 10,973校 | 10,574校(96.4%) | 1,076,269人 |

○教科に関する調査

- 今回出題している学習内容に関しては、知識・技能の定着に一部課題が見られ、知識・技能を活用する力に課題がある。
- 20年度調査は、19年度と比べやや難しい内容となっており、各教科の平均正答率が低くなっているが、過去の調査と同一の問題の正答状況等を踏まえると、学力が低下しているとはいえない。

○正答の状況

- 今回出題した学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。
- 今回出題した学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

| | 小学校調査 | | | | 中学校調査 | | | |
|-----------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| | 国語 | | 算数 | | 国語 | | 数学 | |
| | A | B | A | B | A | B | A | B |
| 平均 正答数 | 11.8問 ／18問 | 6.1問 ／12問 | 13.7問 ／19問 | 6.7問 ／13問 | 25.2問 ／34問 | 6.2問 ／10問 | 23.0問 ／36問 | 7.5問 ／15問 |
| 平均 正答率 | 65.6% | 50.7% | 72.3% | 51.8% | 74.1% | 61.6% | 63.9% | 50.0% |

○20年度調査と19年度調査との平均正答率による単純な比較はできないが、19年度と比べ平均正答率が低くなっている。

【参考】19年度調査

| | 小学校調査 | | | | 中学校調査 | | | |
|-----------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|---------------|
| | 国語 | | 算数 | | 国語 | | 数学 | |
| | A | B | A | B | A | B | A | B |
| 平均 正答数 | 14.7問 ／18問 | 6.3問 ／10問 | 15.6問 ／19問 | 8.9問 ／14問 | 30.4問 ／37問 | 7.2問 ／10問 | 26.2問 ／36問 | 10.4問 ／17問 |
| 平均 正答率 | 81.7% | 63.0% | 82.1% | 63.6% | 82.2% | 72.0% | 72.8% | 61.2% |

○過去の調査問題と同一問題の正答率の比較

○過去の調査と同一問題の正答率を見ると、多くの問題で大きな変化が見られないか、高くなっている。

【小学校調査】

○過去の調査と同一問題の11設問（国語6、算数5）のうち、9設問（国語5、算数4）が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっている。

【中学校調査】

○過去の調査と同一問題の13設問（国語7、数学6）のうち、8設問（国語4、数学4）が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっている。

| | | 過去の調査と比べて3ポイント以上高い問題の数 | 過去の正答率の前後3ポイント未満の範囲にある問題の数 | 過去の調査と比べて3ポイント以上低い問題の数 | 合計 |
|-------|----------------|------------------------|----------------------------|------------------------|--------------|
| 小学校調査 | 20年度 (19年度) | 9問 (10問) | 2問 (3問) | 0問 (0問) | 11問 (13問) |
| 中学校調査 | 20年度 (19年度) | 8問 (7問) | 4問 (3問) | 1問 (2問) | 13問 (12問) |

※過去の調査問題とは、昭和37,39年度及び平成5,13,15,16年度教育課程実施状況調査、並びにTIMSS1995、TIMSS1999、TIMSS2003において出題された問題をさす。なお、各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

○20 年度調査の出題の特徴

○20 年度調査の特徴としては、19 年度と比べ、これまでの調査で課題の見られた内容(※)の問題や解答に当たってより正確な理解が必要な問題が多い出題となっている。

→全体として見れば、19 年度と比べやや難しい内容となっている。

(※)授業における具体的・体験的な活動を繰り返すことによって身に付けさせることが必要なものであり、指導の成果がすぐには表れにくいものと考えられる。

<問題例> ~19 年度調査との比較~

【小学校調査】

○国語 B 3 二

(19 年度) 自分の見聞や体験を基にして意見を書く。(正答率:75.4%)

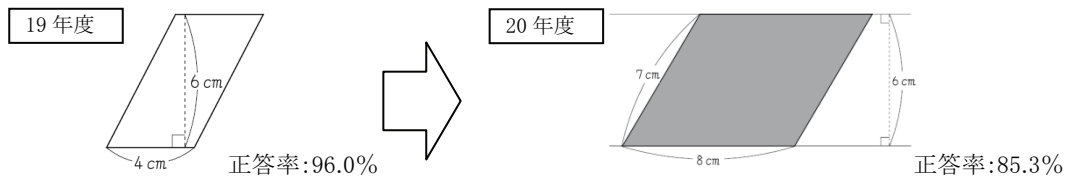
→(20 年度) グラフの情報から分かったことを基にして意見を書く。(正答率:33.0%)

*自分の経験に基づいて意見を書くのではなく、資料の情報を基にして意見を書く必要がある。

○算数 A 5

(19 年度) 底辺と高さの長さが与えられた平行四辺形の面積を求める。

→(20 年度) 底辺と高さと斜辺の長さが与えられた平行四辺形の面積を求める。



*斜辺の長さが加わり、必要な情報を選択して面積を求めることが必要となる。

【中学校調査】

○国語 B 3 三

(19 年度) 本文中の表現や内容に触れて自分の意見を書く。(正答率:75.5%)

→(20 年度) グラフや辞書にある情報を根拠として自分の意見を書く。(正答率:54.3%)

*資料の情報を自分の意見の根拠として分かるように書く必要がある。

○数学 A 1 (3)

(19 年度) $2 \times (-3)^2$ (正答率:88.7%)

→(20 年度) $2 \times (-3^2)$ (正答率:71.9%)

*(-3) を二乗するか、3 を二乗するかについて、正確に判別して計算する必要がある。

<調査時間についての児童生徒の反応>

○19 年度と比べると、解答時間が十分でなかった児童生徒の割合が増加している。

・解答時間が「やや足りなかった」または「全く足りなかった」と回答した児童生徒の割合

| | 小学校調査 | | | | 中学校調査 | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 国語 A | 国語 B | 算数 A | 算数 B | 国語 A | 国語 B | 数学 A | 数学 B |
| 20 年度 | 43.6% | 40.9% | 20.1% | 30.9% | 9.3% | 31.0% | 10.0% | 30.4% |
| 19 年度 | 12.6% | 29.8% | 9.8% | 32.0% | 3.6% | 12.9% | 5.4% | 21.1% |

【小学校国語】

○国語A（知識）について、平均正答率が65.6%であり、今回出題した学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。

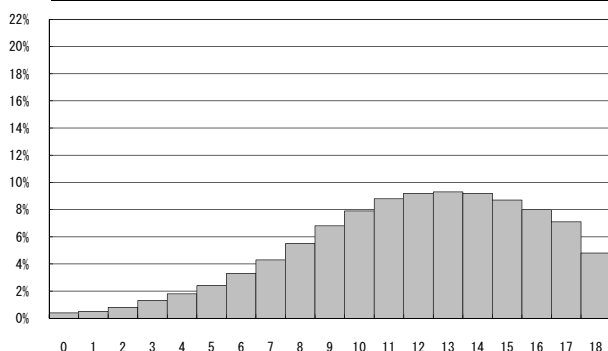
例えば、過去の調査との同一問題（6設問）のうち5設問が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっているが、同音異義の漢字を書き分けることやグラフから分かる内容を書くことなどに課題がある。

○国語B（活用）について、平均正答率が50.7%であり、今回出題した学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

例えば、物語の場面描写をとらえて内容を整理すること、資料から必要な情報を目的や課題に応じて取り出し、条件に即して書き換えることなどに課題がある。

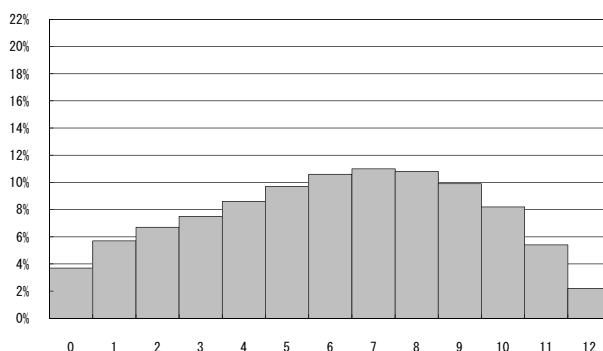
【国語A】

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,160,464人 | 11.8問/18問 | 65.6% | 12.0問 | 4.0 |



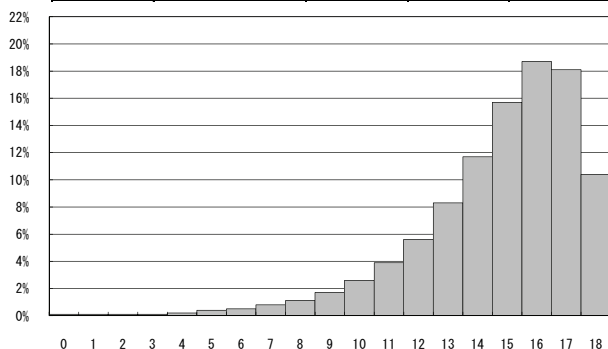
【国語B】

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|----------|-------|------|------|
| 1,160,284人 | 6.1問/12問 | 50.7% | 6.0問 | 3.1 |



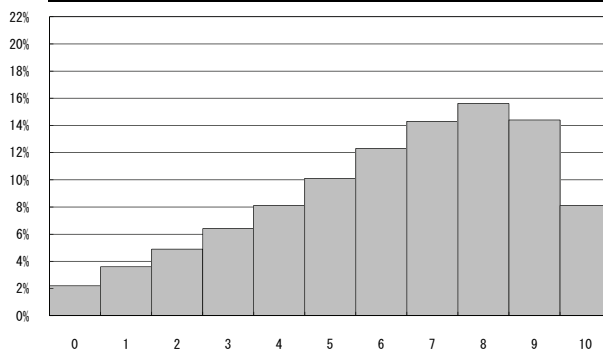
【参考】[19年度国語A]

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,139,482人 | 14.7問/18問 | 81.7% | 15.0問 | 2.7 |



【参考】[19年度国語B]

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|----------|-------|------|------|
| 1,139,322人 | 6.3問/10問 | 63.0% | 7.0問 | 2.6 |



○過去の調査問題と同一問題の正答率

| 問題の内容 | 正答率 | 過去の調査の正答率（実施年度・学年） |
|------------|-------|----------------------------------|
| 漢字を読む（保護） | 98.1% | 95.8%（平成15年度・小5） |
| 〃（承知） | 89.2% | 82.4%（平成16年度・小5） |
| 〃（勢い） | 76.4% | 63.4%（平成16年度・小5） |
| 漢字を書く（投げる） | 82.7% | 56.7%（昭和39年度・小5）、72.4%（平成5年度・小5） |
| 〃（予防） | 63.2% | 51.8%（平成16年度・小5） |
| 〃（往復） | 64.5% | 29.4%（昭和39年度・小6） |

※各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

【小学校算数】

○算数A（知識）について、平均正答率が 72.3%であり、今回出題した学習内容の知識・技能について更に身に付けさせる必要がある。

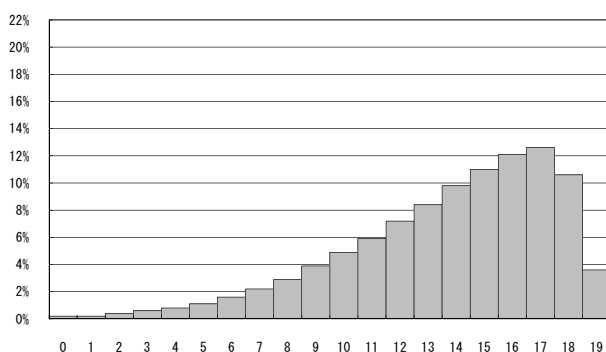
例えば、過去の調査との同一問題（5設問）のうち4設問が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっているが、面積についての感覚を身に付けることや百分率の意味を理解することなどに課題がある。

○算数B（活用）について、平均正答率が 51.8%であり、今回出題した学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

例えば、割合の考えを用いて正誤を判断し、その理由を説明すること、2つのグラフの特徴を基にしてその違いを説明することなどに課題がある。

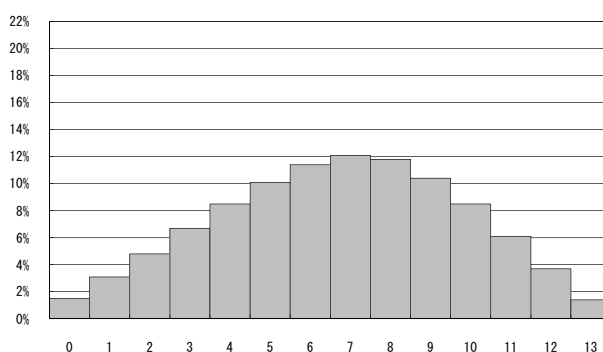
【算数A】

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,160,515人 | 13.7問/19問 | 72.3% | 14.0問 | 3.7 |



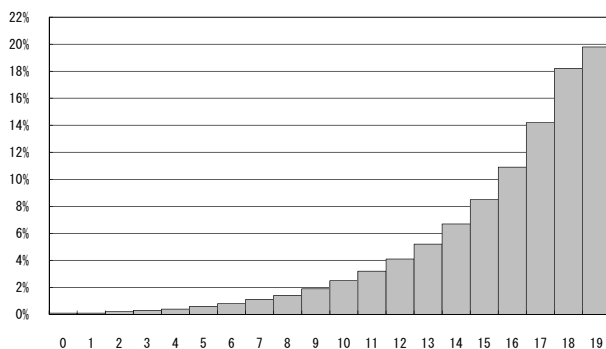
【算数B】

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|----------|-------|------|------|
| 1,160,354人 | 6.7問/13問 | 51.8% | 7.0問 | 3.0 |



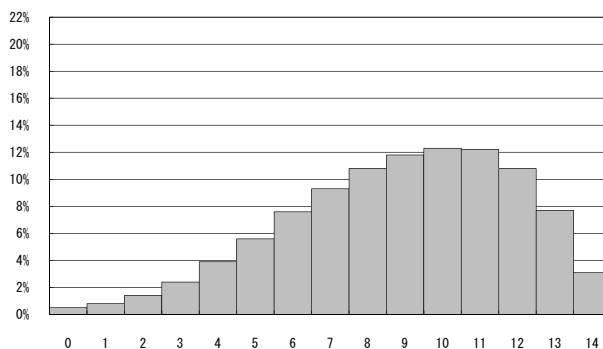
【参考】[19年度算数A]

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,139,492人 | 15.6問/19問 | 82.1% | 17.0問 | 3.4 |



【参考】[19年度算数B]

| 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|----------|-------|------|------|
| 1,139,423人 | 8.9問/14問 | 63.6% | 9.0問 | 3.0 |



○過去の調査問題と同一問題の正答率

| 問題の内容 | 正答率 | 過去の調査の正答率（実施年度・学年） |
|-----------------------|-------|--|
| $68.4 \div 36$ | 76.3% | 76.6%（平成13年度・小5）, 72.1%（平成15年度・小5） |
| $3 + 2 \times 4$ | 71.1% | 66.0%（平成16年度・小5） |
| $2 \div 3$ を分数で表す | 73.8% | 69.3%（平成15年度・小5） |
| $7/10$ と等しい数を選ぶ | 82.3% | 65.3%（TIMSS1995・小4）, 60.2%（TIMSS2003・小4） |
| 小数の乗除の式で答えが大きくなるものを選ぶ | 45.3% | 25.8%（昭和39年度・小6） |

※各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

【中学校国語】

○国語A（知識）について、平均正答率が74.1%であり、今回出題した学習内容の知識・技能について更に身に付けさせる必要がある。

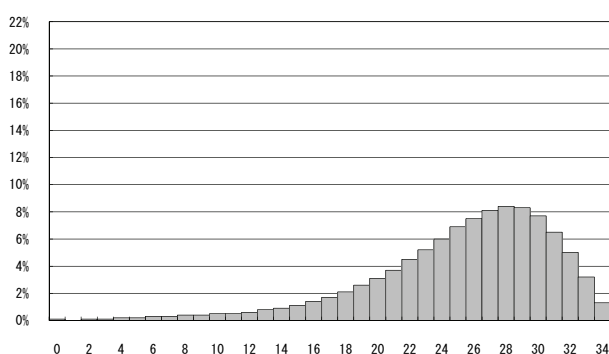
例えば、過去の調査との同一問題（7設問）のうち4設問が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっているが、論理の展開に即して説明文の記述の内容を読み取ることや辞書の言葉を使って慣用句の意味を書くことに課題がある。

○国語B（活用）について、平均正答率が61.6%であり、今回出題した学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

例えば、表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を整理すること、資料の情報を根拠にして自分の考えを書くことなどに課題がある。

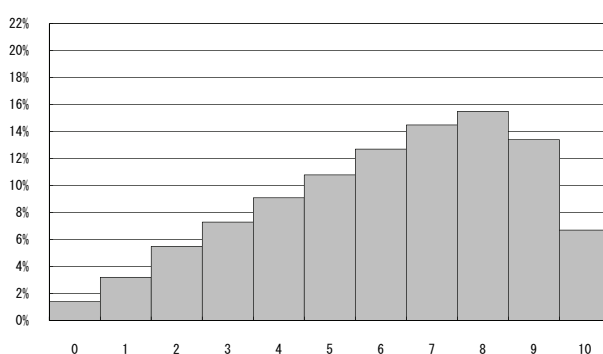
【国語A】

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-------------|-------|-------|------|
| 1,075,695人 | 25.2問 / 34問 | 74.1% | 26.0問 | 5.7 |



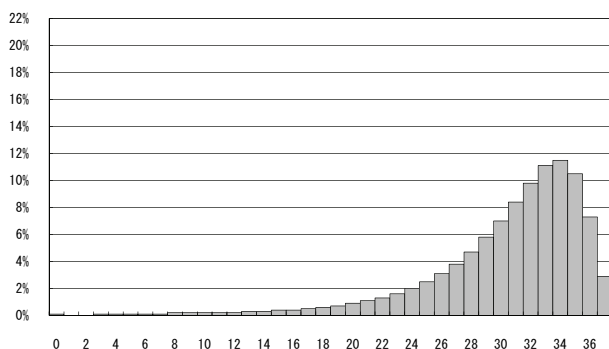
【国語B】

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|------------|-------|------|------|
| 1,075,992人 | 6.2問 / 10問 | 61.6% | 7.0問 | 2.5 |



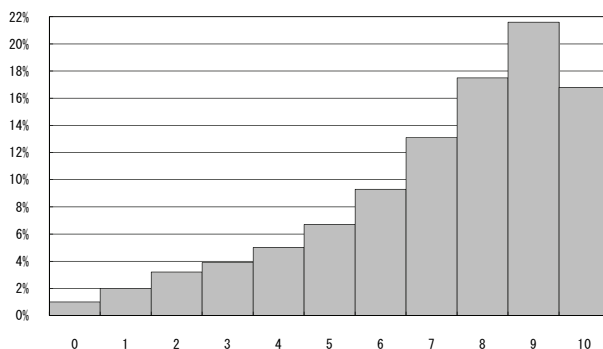
【参考】[19年度国語A]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,076,177人 | 30.4問/37問 | 82.2% | 32.0問 | 5.5 |



【参考】[19年度国語B]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|----------|-------|------|------|
| 1,076,690人 | 7.2問/10問 | 72.0% | 8.0問 | 2.4 |



○過去の調査問題と同一問題の正答率

| 問題の内容 | 正答率 | 過去の調査の正答率（実施年度・学年） |
|---------------|-------|--------------------|
| 漢字を書く（予測） | 64.0% | 16.4%（昭和39年度・中2） |
| 〃（背景） | 78.1% | 73.1%（平成16年度・中3） |
| 〃（保つ） | 84.0% | 69.4%（平成15年度・中1） |
| 漢字を読む（突破） | 96.9% | 95.0%（平成16年度・中1） |
| 語句選択（交通がとだえた） | 92.5% | 67.4%（昭和37年度・中2） |
| 〃（口火を切った） | 55.4% | 55.0%（平成13年度・中3） |
| 敬語選択（ご覧になる） | 74.9% | 76.4%（平成15年度・中3） |

※各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

【中学校数学】

○数学A（知識）について、平均正答率が63.9%であり、今回出題した学習内容の知識・技能の定着に一部課題が見られる。

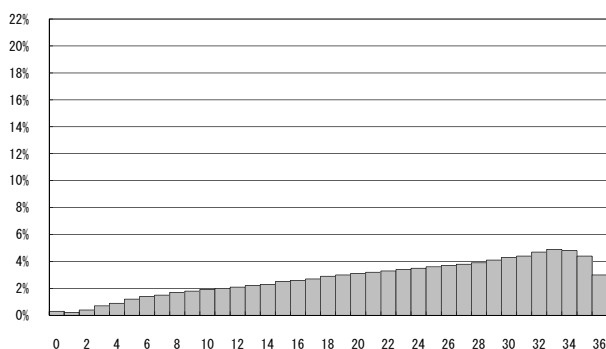
例えば、過去の調査との同一問題（6設問）のうち4設問が過去の正答率と比べ3ポイント以上高くなっているが、文字式を事象と関連付けてよみとること、比例・反比例・一次関数の意味や対応するグラフの特徴の理解などに課題がある。

○数学B（活用）について、平均正答率が50.0%であり、今回出題した学習内容に係る知識・技能を活用する力に課題がある。

例えば、複数の資料から課題解決に必要な情報を整理し、事象を数学的に解釈して説明することなどに課題がある。

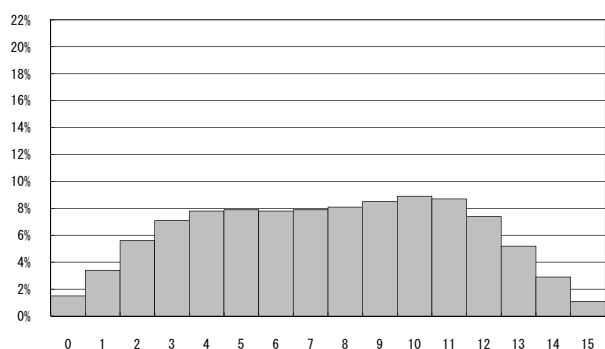
[数学A]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-------------|-------|-------|------|
| 1,076,171人 | 23.0問 / 36問 | 63.9% | 24.0問 | 9.0 |



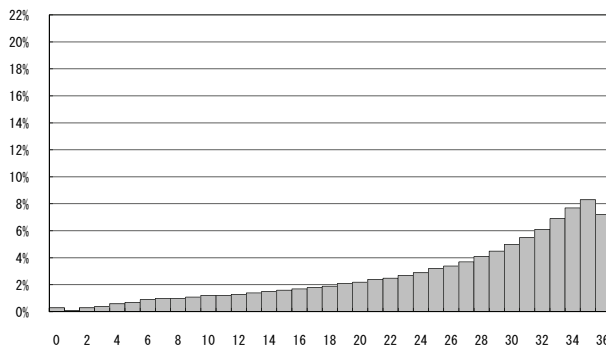
[数学B]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|------------|-------|------|------|
| 1,076,269人 | 7.5問 / 15問 | 50.0% | 8.0問 | 3.7 |



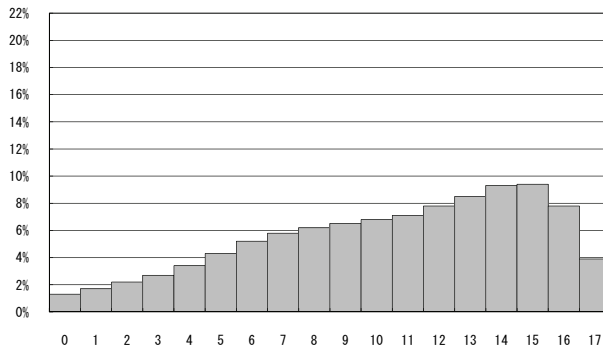
【参考】[19年度数学A]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,077,011人 | 26.2問/36問 | 72.8% | 29.0問 | 8.7 |



【参考】[19年度数学B]

| 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 | 中央値 | 標準偏差 |
|------------|-----------|-------|-------|------|
| 1,077,209人 | 10.4問/17問 | 61.2% | 11.0問 | 4.4 |



※数学Bの分布が19年度と異なる形状となっているのは、20年度の記述問題の正答率が全般的に低い
ため、全体として正答率の低い生徒の層が多くなったことによるものであると考えられる。

○過去の調査問題と同一問題の正答率

| 問題の内容 | 正答率 | 過去の調査の正答率（実施年度・学年） |
|---|-------|--|
| $2 \times (-3)^2$ | 71.9% | 61.7%（平成13年度・中1）, 61.4%（平成15年度・中1） |
| $a=4, b=-3$ のときの ab の値 | 71.7% | 54.3%（昭和37年度・中2） |
| $-5x+7=-x+31$ を解く | 78.4% | 71.5%（平成15年度・中1） |
| $y=3x-1, 3x+2y=16$ を解く | 77.4% | 73.3%（平成15年度・中2） |
| 1組の平行線に1つの直線 が交わるとき、和が 180° になる2つの角を選ぶ | 79.9% | 83.2%（TIMSS1999・中2） 82.8%（TIMSS2003・中2） |
| 一次関数の式からグラフの 傾きを求める | 54.2% | 53.2%（平成13年度・中2）, 54.8%（平成15年度・中2） |

※各調査の実施時期や実施学年等が異なるため単純な比較ができないことに留意する必要がある。

○地域の規模等の状況

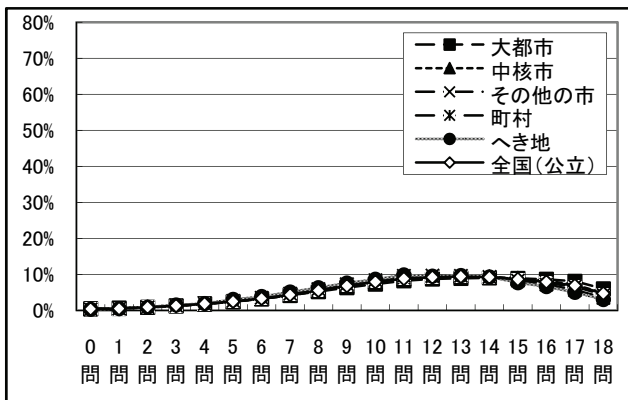
○小学校調査、中学校調査ともに、平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差を見ると、19年度同様、地域の規模等（公立：大都市、中核市、その他の市、町村、へき地）による大きな差は見られない。

【小学校調査】

[国語A]

| | 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|-----------|-----------|----------|------|------|
| 大都市 | 264,712 | 12.0 / 18 | 66.5 | 12.0 | 4.1 |
| 中核市 | 153,348 | 11.9 / 18 | 65.9 | 12.0 | 3.9 |
| その他の市 | 605,845 | 11.7 / 18 | 65.1 | 12.0 | 3.9 |
| 町村 | 123,332 | 11.5 / 18 | 64.1 | 12.0 | 3.8 |
| へき地 | 29,184 | 11.3 / 18 | 62.8 | 12.0 | 3.8 |
| 全国(公立) | 1,147,582 | 11.8 / 18 | 65.4 | 12.0 | 4.0 |

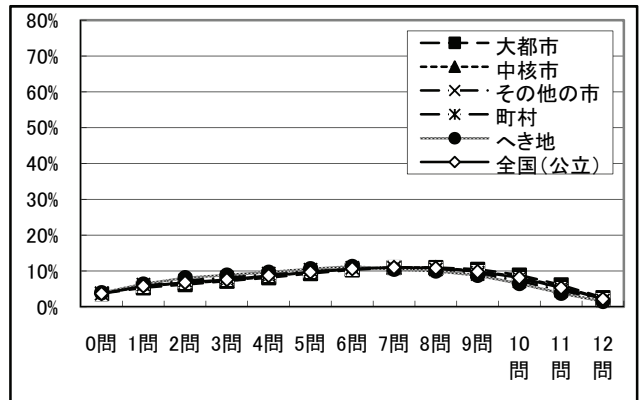
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



[国語B]

| | 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|-----------|----------|----------|-----|------|
| 大都市 | 264,676 | 6.3 / 12 | 52.1 | 7.0 | 3.2 |
| 中核市 | 153,329 | 6.1 / 12 | 51.1 | 6.0 | 3.1 |
| その他の市 | 605,754 | 6.0 / 12 | 50.0 | 6.0 | 3.1 |
| 町村 | 123,310 | 5.9 / 12 | 48.8 | 6.0 | 3.1 |
| へき地 | 29,174 | 5.7 / 12 | 47.2 | 6.0 | 3.1 |
| 全国(公立) | 1,147,406 | 6.1 / 12 | 50.5 | 6.0 | 3.1 |

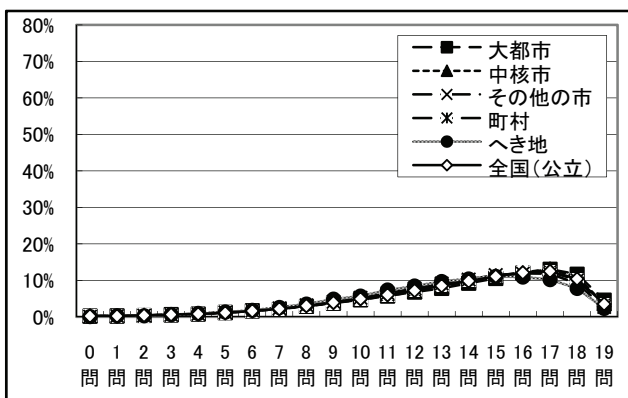
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



[算数A]

| | 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|-----------|-----------|----------|------|------|
| 大都市 | 264,717 | 13.8 / 19 | 72.8 | 15.0 | 3.8 |
| 中核市 | 153,352 | 13.8 / 19 | 72.5 | 15.0 | 3.7 |
| その他の市 | 605,874 | 13.7 / 19 | 72.0 | 14.0 | 3.7 |
| 町村 | 123,345 | 13.5 / 19 | 71.3 | 14.0 | 3.7 |
| へき地 | 29,184 | 13.2 / 19 | 69.5 | 14.0 | 3.7 |
| 全国(公立) | 1,147,633 | 13.7 / 19 | 72.2 | 14.0 | 3.7 |

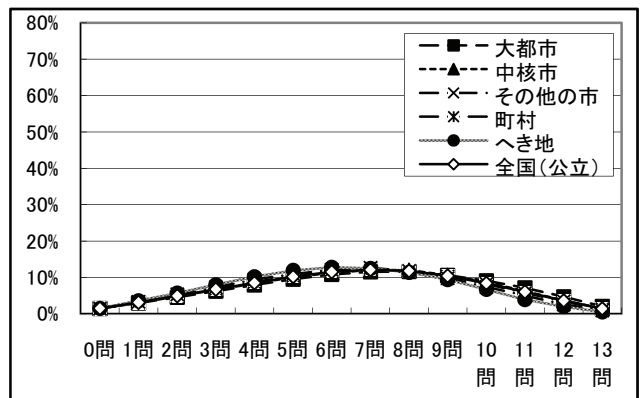
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



[算数B]

| | 児童数 | 平均正答数 | 平均正答率(%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|-----------|----------|----------|-----|------|
| 大都市 | 264,718 | 6.9 / 13 | 53.4 | 7.0 | 3.1 |
| 中核市 | 153,336 | 6.8 / 13 | 52.0 | 7.0 | 3.0 |
| その他の市 | 605,766 | 6.6 / 13 | 51.1 | 7.0 | 3.0 |
| 町村 | 123,314 | 6.4 / 13 | 49.6 | 7.0 | 2.9 |
| へき地 | 29,170 | 6.2 / 13 | 47.7 | 6.0 | 2.8 |
| 全国(公立) | 1,147,475 | 6.7 / 13 | 51.6 | 7.0 | 3.0 |

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:児童の割合)



※大都市（政令指定都市及び東京23区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する児童の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。

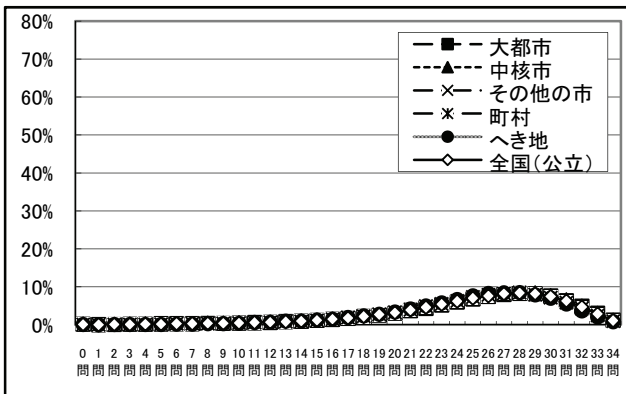
※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する児童の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

【中学校調査】

[国語A]

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|------------|-----------|-----------|------|------|
| 大都市 | 215,125人 | 25.0 / 34 | 73.6 | 26.0 | 6.0 |
| 中核市 | 135,484人 | 25.2 / 34 | 74.0 | 26.0 | 5.8 |
| その他の市 | 553,248人 | 25.0 / 34 | 73.5 | 26.0 | 5.7 |
| 町村 | 119,331人 | 25.0 / 34 | 73.4 | 26.0 | 5.6 |
| へき地 | 26,924人 | 24.8 / 34 | 73.1 | 26.0 | 5.5 |
| 全国(公立) | 1,028,550人 | 25.0 / 34 | 73.6 | 26.0 | 5.8 |

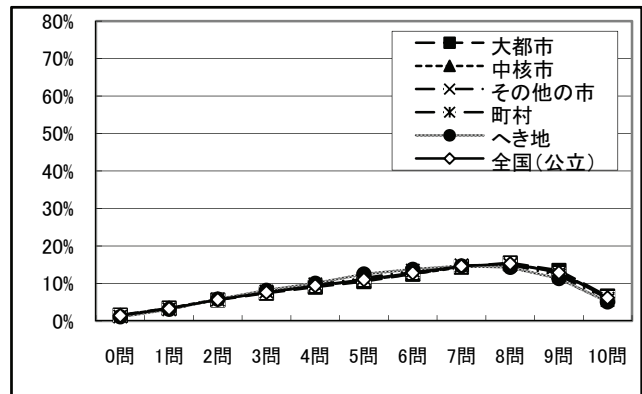
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



[国語B]

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|------------|----------|-----------|-----|------|
| 大都市 | 215,243人 | 6.1 / 10 | 61.3 | 7.0 | 2.6 |
| 中核市 | 135,576人 | 6.1 / 10 | 60.9 | 6.0 | 2.6 |
| その他の市 | 553,328人 | 6.1 / 10 | 60.6 | 6.0 | 2.5 |
| 町村 | 119,340人 | 6.1 / 10 | 60.3 | 6.0 | 2.5 |
| へき地 | 26,915人 | 6.1 / 10 | 59.4 | 6.0 | 2.4 |
| 全国(公立) | 1,028,841人 | 6.1 / 10 | 60.9 | 6.0 | 2.5 |

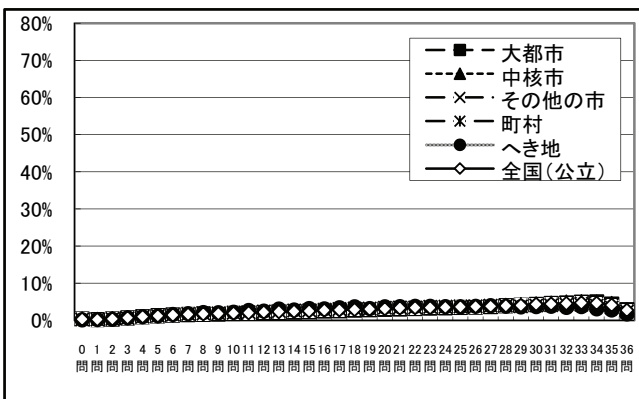
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



[数学A]

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|------------|-----------|-----------|------|------|
| 大都市 | 215,302人 | 22.9 / 36 | 63.6 | 24.0 | 9.2 |
| 中核市 | 135,586人 | 23.1 / 36 | 64.2 | 25.0 | 9.1 |
| その他の市 | 553,438人 | 22.6 / 36 | 62.8 | 24.0 | 9.0 |
| 町村 | 119,334人 | 22.3 / 36 | 61.8 | 23.0 | 8.9 |
| へき地 | 26,900人 | 21.5 / 36 | 59.6 | 22.0 | 8.7 |
| 全国(公立) | 1,029,014人 | 22.7 / 36 | 63.1 | 24.0 | 9.0 |

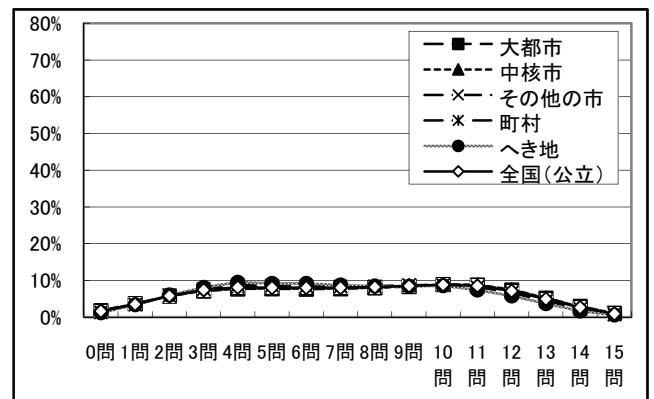
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



[数学B]

| | 生徒数 | 平均正答数 | 平均正答率 (%) | 中央値 | 標準偏差 |
|--------|------------|----------|-----------|-----|------|
| 大都市 | 215,341人 | 7.4 / 15 | 49.6 | 8.0 | 3.8 |
| 中核市 | 135,632人 | 7.5 / 15 | 49.8 | 8.0 | 3.8 |
| その他の市 | 553,441人 | 7.3 / 15 | 48.9 | 7.0 | 3.7 |
| 町村 | 119,346人 | 7.2 / 15 | 48.3 | 7.0 | 3.6 |
| へき地 | 26,893人 | 7.0 / 15 | 46.7 | 7.0 | 3.5 |
| 全国(公立) | 1,029,104人 | 7.4 / 15 | 49.2 | 7.0 | 3.7 |

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:生徒の割合)



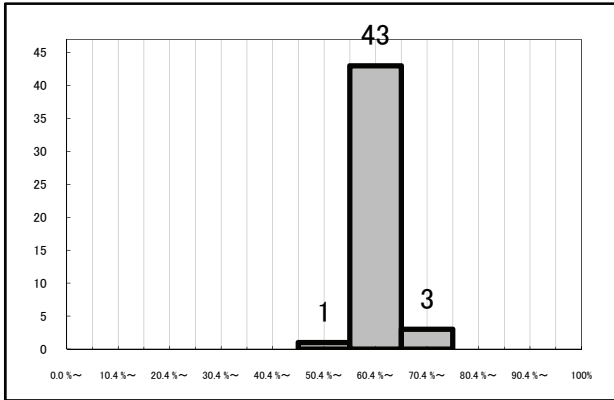
○都道府県の状況

【小学校調査】

○各都道府県（公立）の状況については、平均正答率を見ると、19年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、ばらつきが小さい。

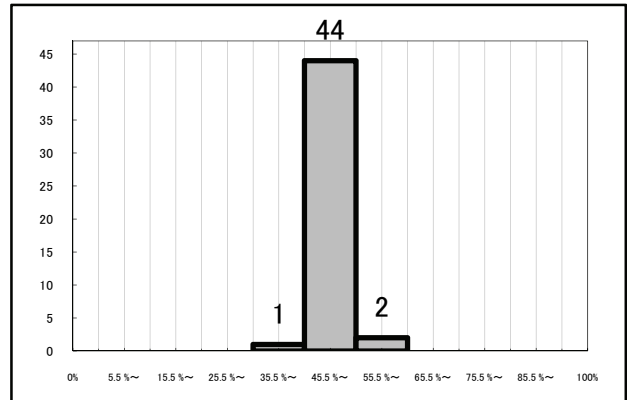
[国語A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



[国語B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)

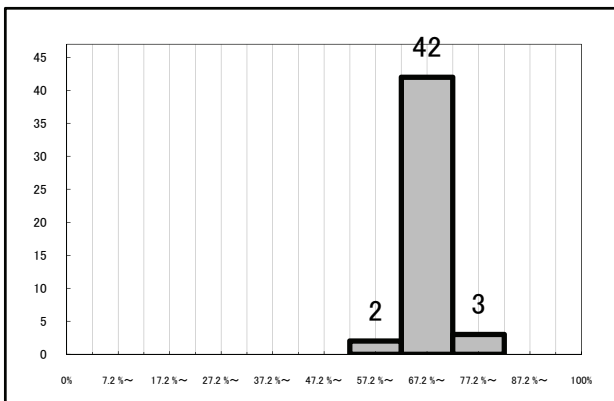


| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 65.4% | 74.4% (+9.0%) | 57.5% (-7.9%) |

| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 50.5% | 62.9% (+12.4%) | 45.1% (-5.4%) |

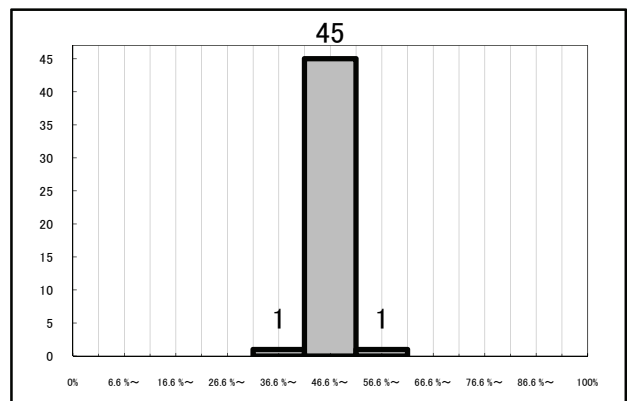
[算数A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



[算数B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 72.2% | 80.7% (+8.5%) | 66.3% (-5.9%) |

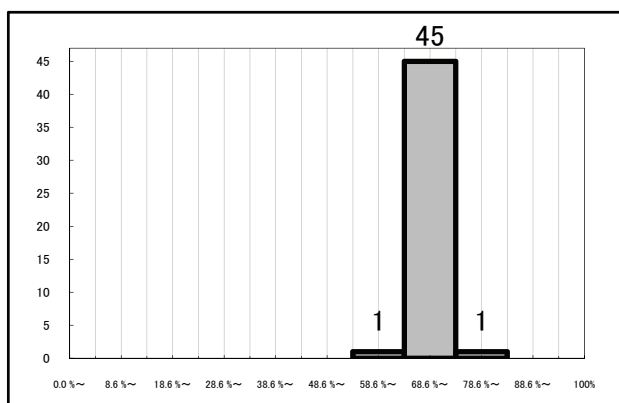
| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 51.6% | 58.9% (+7.3%) | 45.5% (-6.1%) |

【中学校調査】

○各都道府県（公立）の状況については、平均正答率を見ると、19年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、ばらつきが小さい。

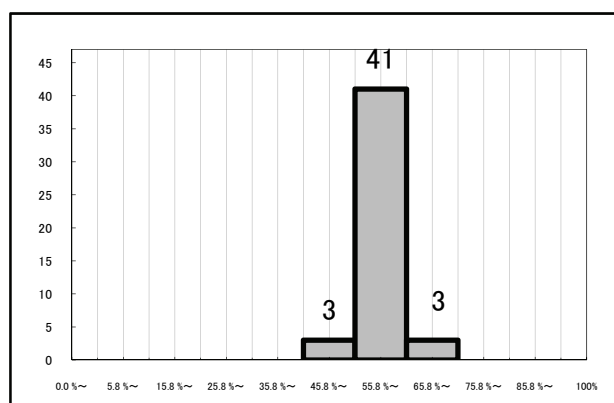
[国語A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



[国語B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)

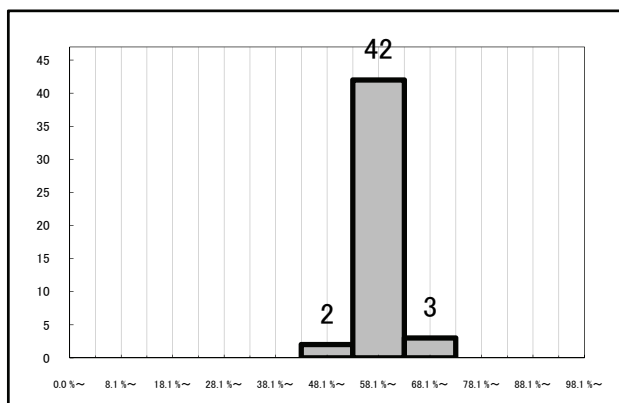


| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 73.6% | 78.6% (+5.0%) | 67.8% (-5.8%) |

| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 60.9% | 67.3% (+6.4%) | 54.0% (-6.9%) |

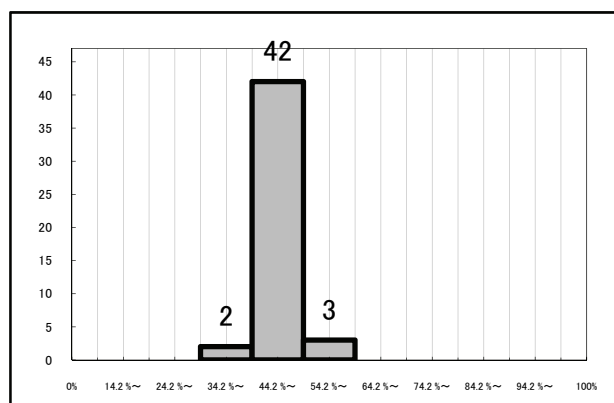
[数学A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



[数学B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率、縦軸:都道府県数)



| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 63.1% | 72.1% (+9.0%) | 49.6% (-13.5%) |

| 全国(公立)の平均正答率 | 47 都道府県(公立)中、最高平均正答率 (全国との差) | 47 都道府県(公立)中、最低平均正答率 (全国との差) |
|--------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 49.2% | 58.5% (+9.3%) | 38.0% (-11.2%) |

○学校の状況

【小学校調査】

○各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、19年度と比べ、国語Aについてはばらつきがやや大きくなっているが、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

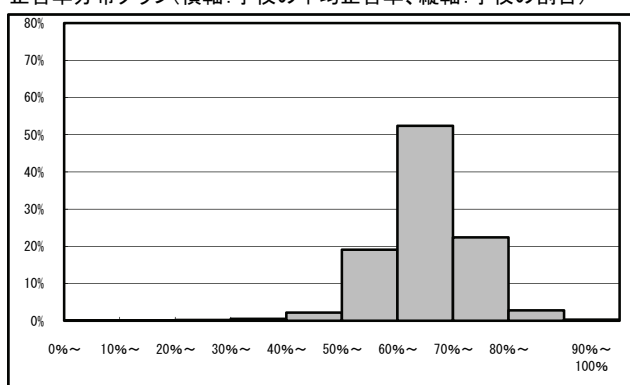
[国語A]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|---------|-------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 21,848校 | 11.7問 / 18問 | 65.2% | 65.4% | 8.3 |

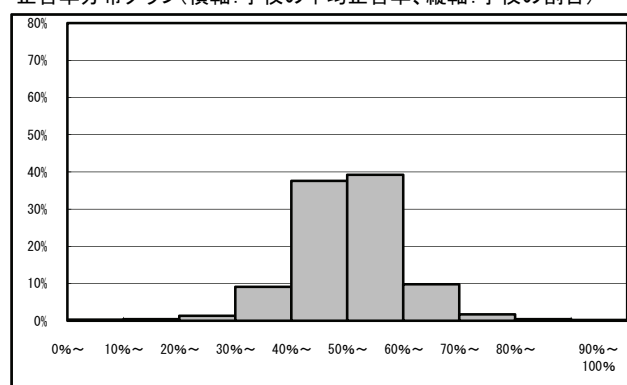
[国語B]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|---------|------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 21,842校 | 6.0問 / 12問 | 50.1% | 50.0% | 9.6 |

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



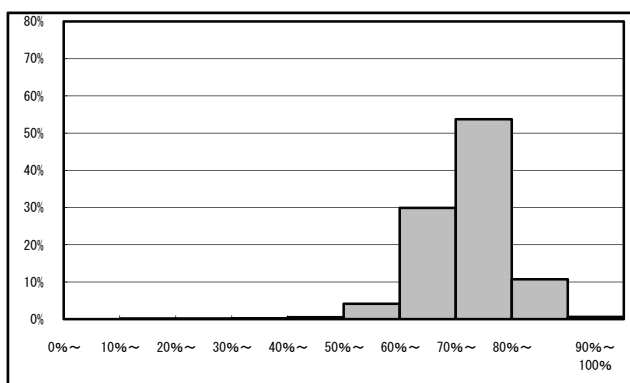
正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



[算数A]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|---------|-------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 21,846校 | 13.7問 / 19問 | 72.1% | 72.5% | 7.6 |

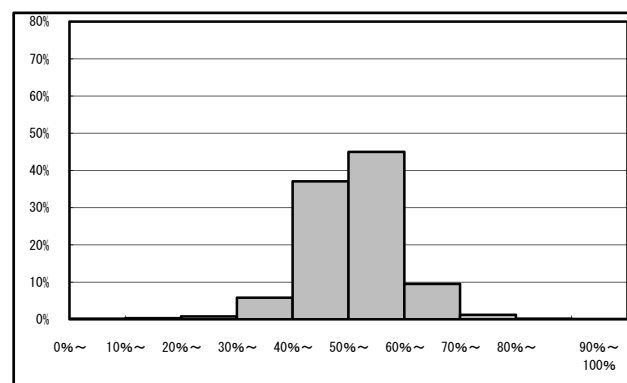
正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



[算数B]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|---------|------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 21,843校 | 6.6問 / 13問 | 50.9% | 51.0% | 8.2 |

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



【中学校調査】

○各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、数学Aのばらつきが最も大きいですが、全体としては、19年度同様、それほど大きなばらつきは見られない。

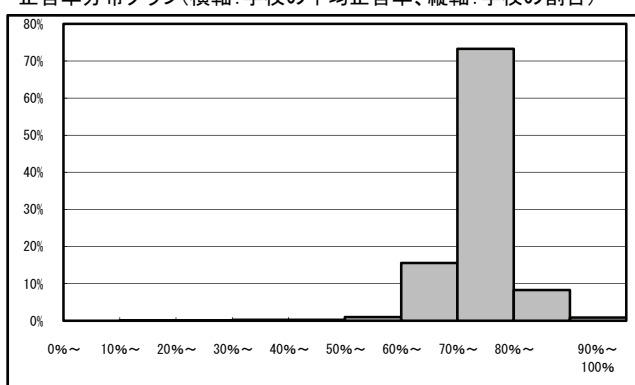
[国語A]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|----------|--------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 10,573 校 | 25.1 問 /34 問 | 73.8% | 74.1% | 6.5 |

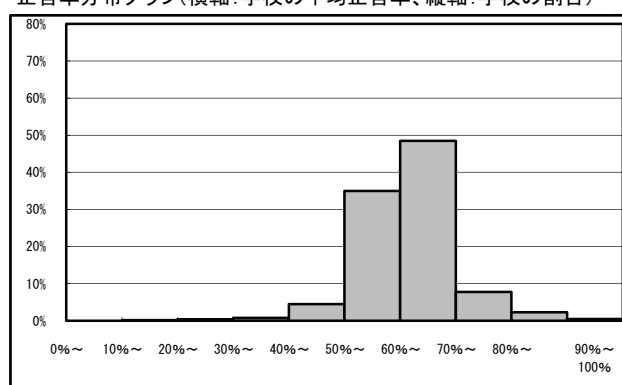
[国語B]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|----------|-------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 10,570 校 | 6.1 問 /10 問 | 61.2% | 61.3% | 8.7 |

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



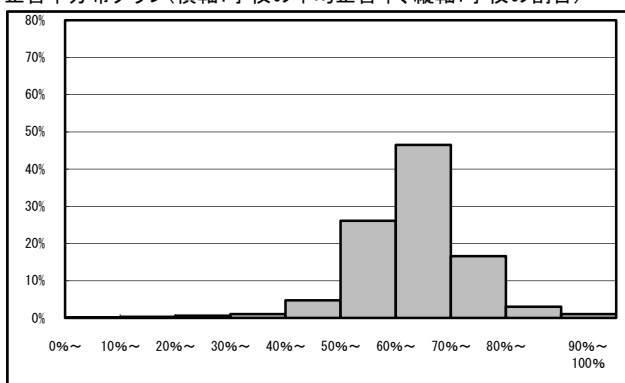
[数学A]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|----------|--------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 10,569 校 | 22.7 問 /36 問 | 63.1% | 63.4% | 10.1 |

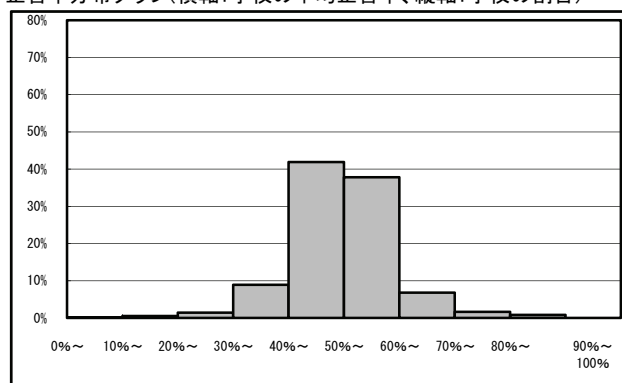
[数学B]

| 学校数 | 学校の平均正答数 | 学校の平均正答率 | | |
|----------|-------------|----------|-------|------|
| | 全国平均 | 全国平均 | 中央値 | 標準偏差 |
| 10,567 校 | 7.4 問 /15 問 | 49.4% | 49.4% | 9.3 |

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



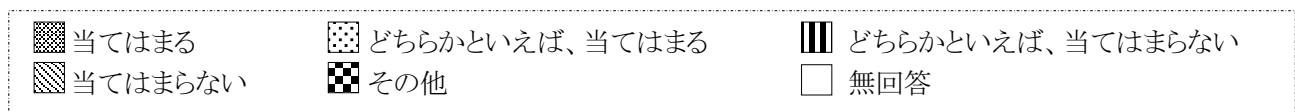
正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率、縦軸:学校の割合)



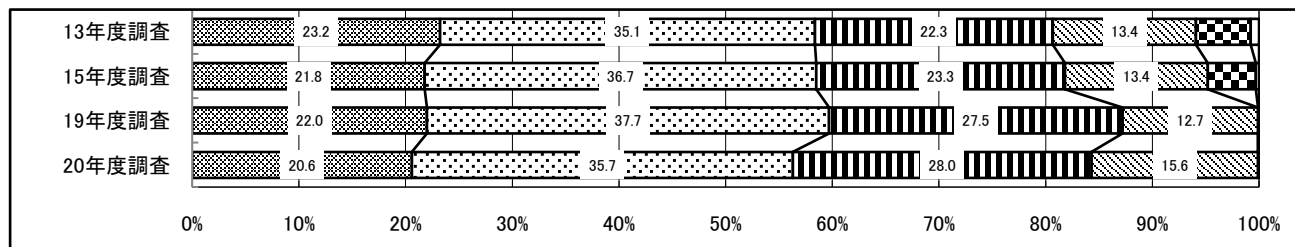
○児童生徒質問紙

<学習に対する関心・意欲・態度>

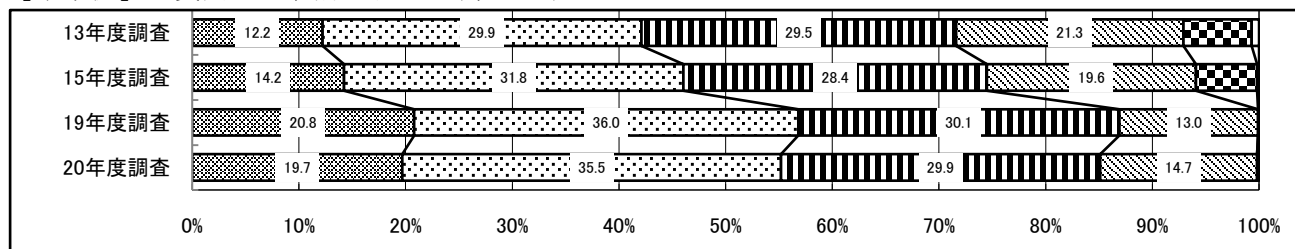
○国語の勉強が好きな児童の割合は、19年度と比べやや低くなっているが、生徒の割合は大きな変化は見られない。



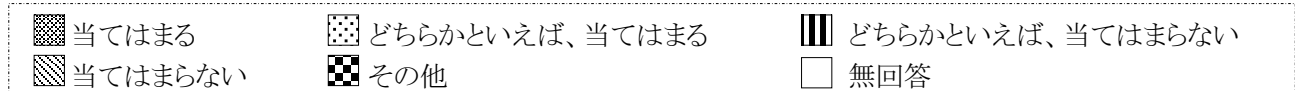
【小学校】*質問 50：国語の勉強は好きですか



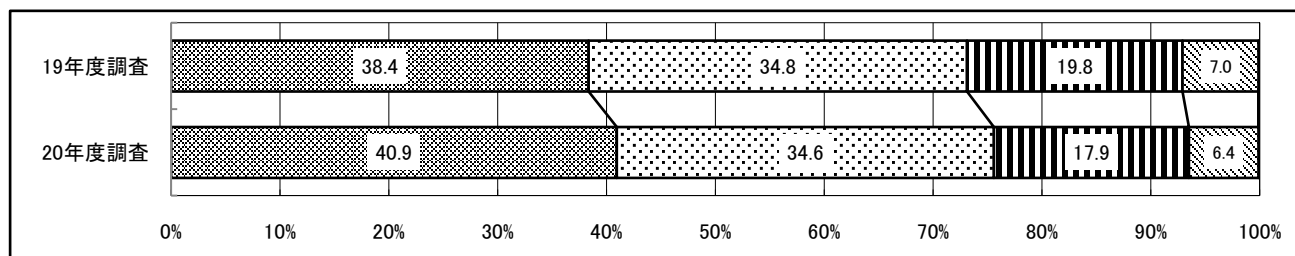
【中学校】*質問 50：国語の勉強は好きですか



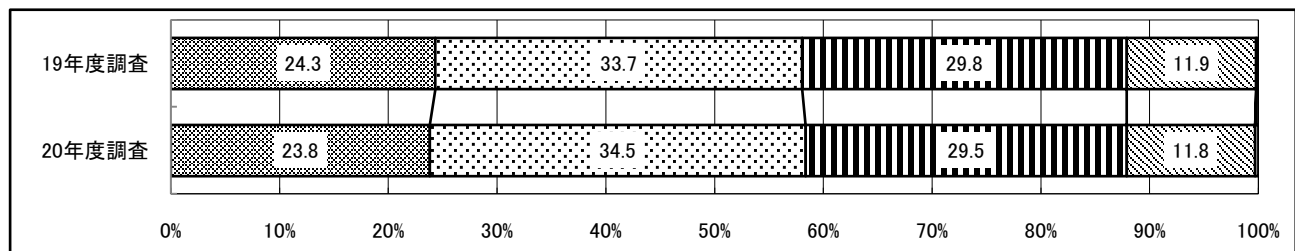
○新しく習った漢字を実際の生活の中で使おうとする児童の割合は、19年度と比べやや高くなっているが、生徒の割合は大きな変化は見られない。



【小学校】*質問 54：新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか



【中学校】*質問 54：新しく習った漢字を実際の生活で使おうとしていますか

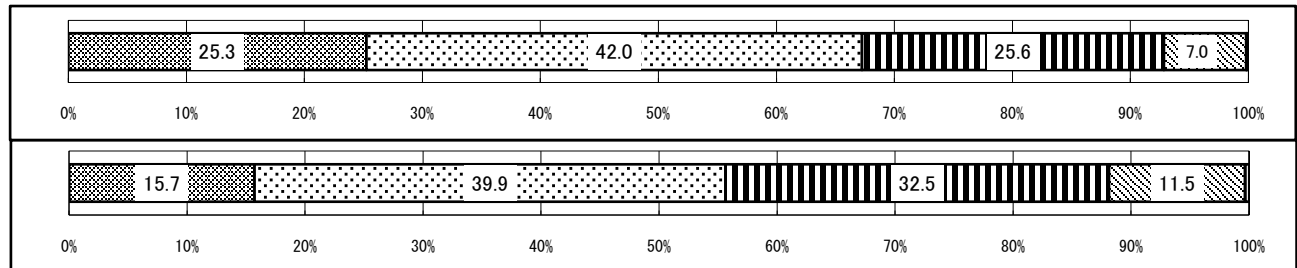


○国語の授業で、考えの理由が分かるように気をつけて書く児童の割合は約 67%、生徒の割合は約 56%である。

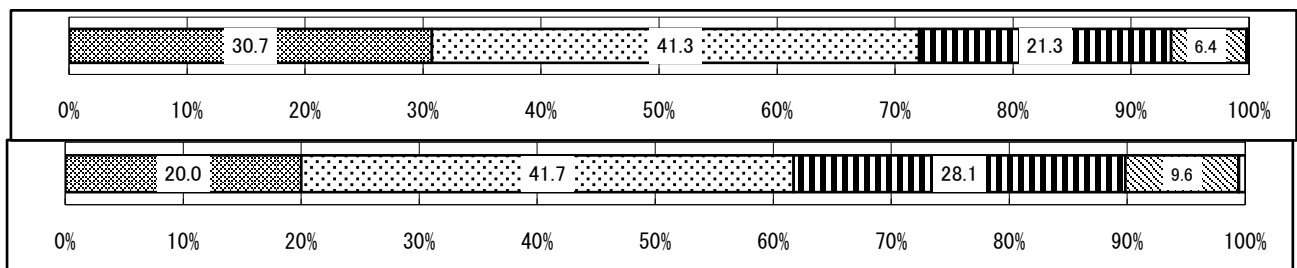
○国語の授業で、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読む児童の割合は約 72%、生徒は約 62%である。



*質問 58：国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか
 (新規)【上段：小学校、下段：中学校】

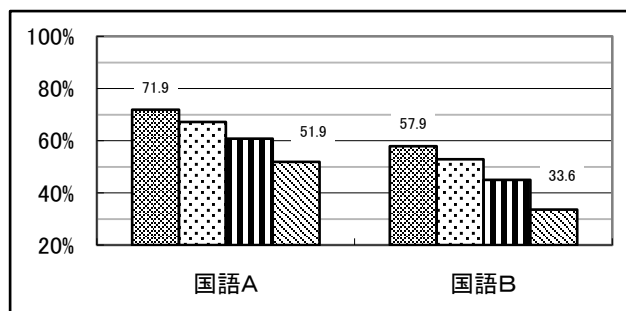


*質問 59：国語の授業で文書を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか
 (新規)【上段：小学校、下段：中学校】

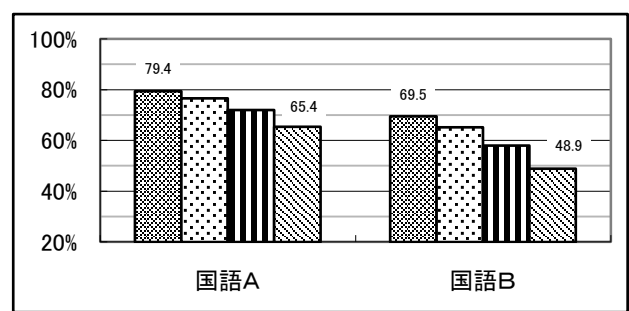


○国語の授業で、考えの理由が分かるように気をつけて書く児童生徒、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読む児童生徒の方が、国語の正答率が高い傾向が見られる。

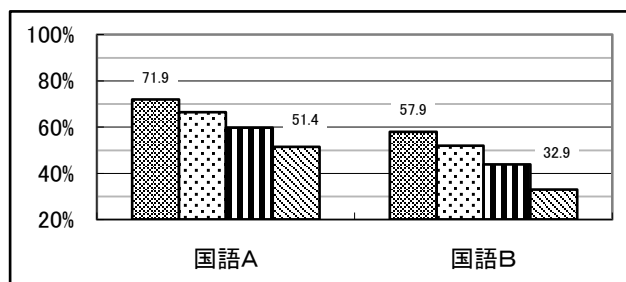
*質問 58：国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか(新規)
 【小学校】



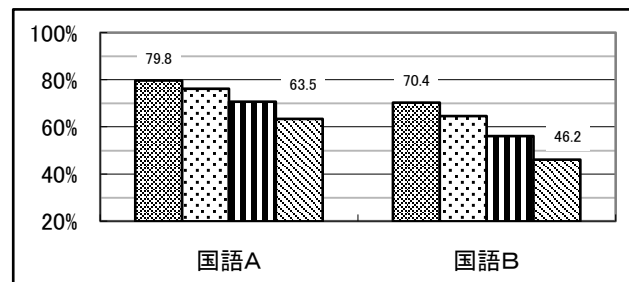
【中学校】



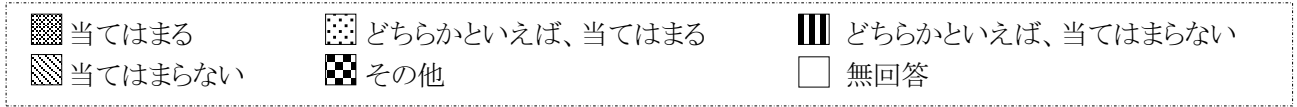
*質問 59：国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか(新規)
 【小学校】



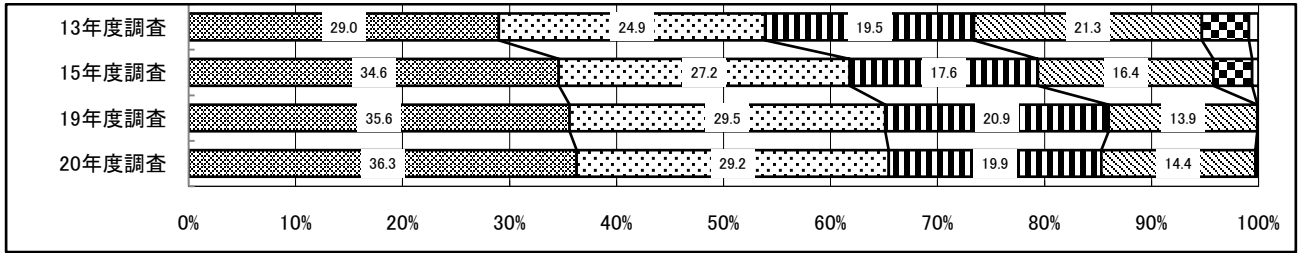
【中学校】



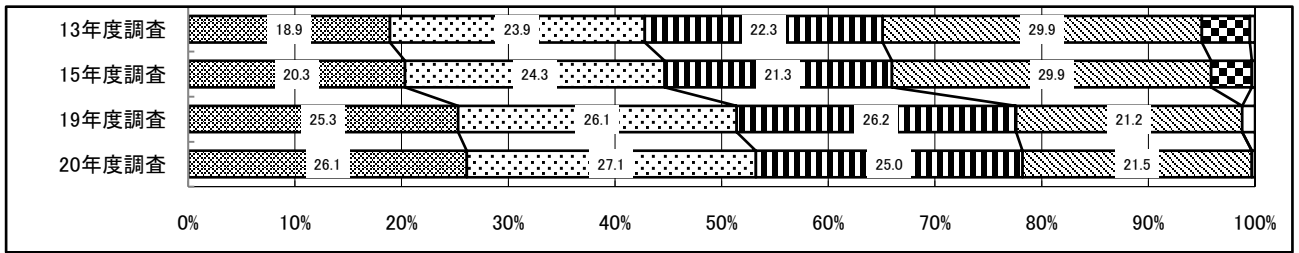
○算数・数学の勉強が好きな児童生徒の割合に、増加傾向がうかがえる。



【小学校】*質問 61：算数の勉強は好きですか



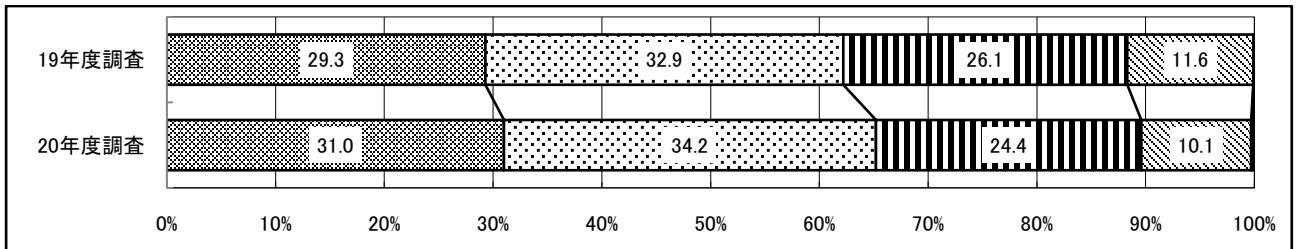
【中学校】*質問 61：数学の勉強は好きですか



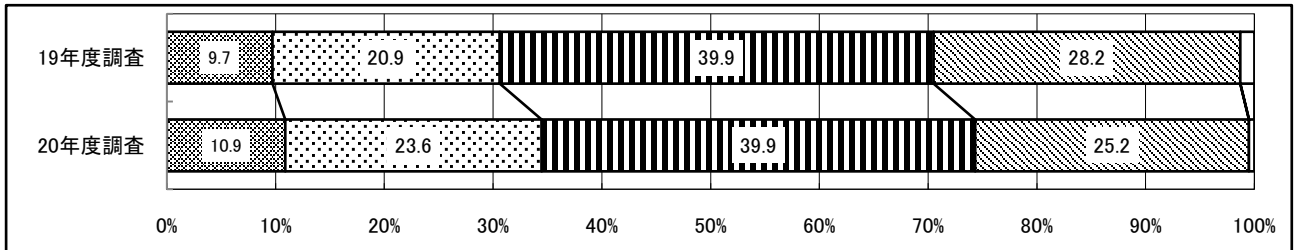
○算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える児童生徒の割合は、19年度と比べやや高くなっている。



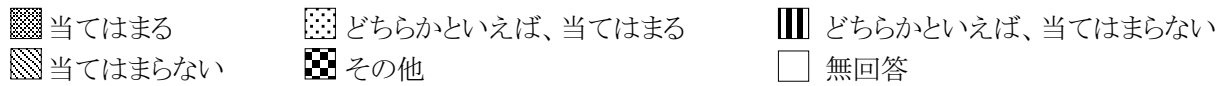
【小学校】*質問 66：算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



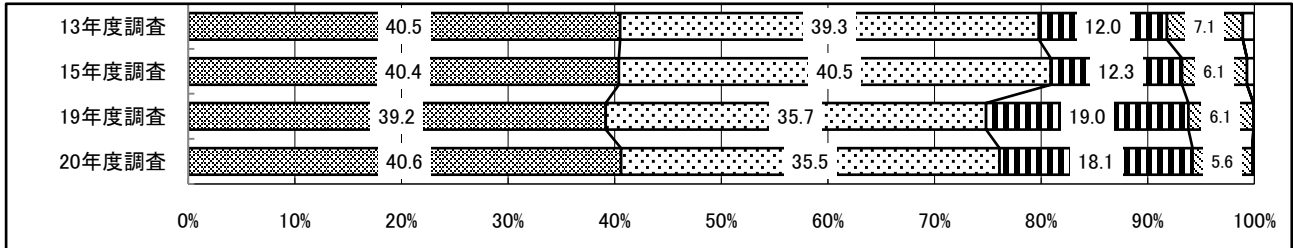
【中学校】*質問 66：数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか



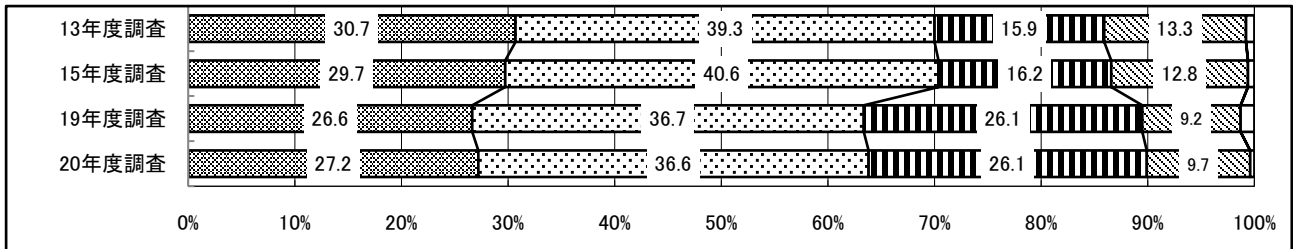
○算数・数学の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える児童生徒の割合は、19年度と比べ大きな変化は見られない。



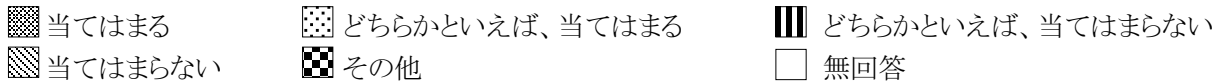
【小学校】*質問 65：算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか



【中学校】*質問 65：数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

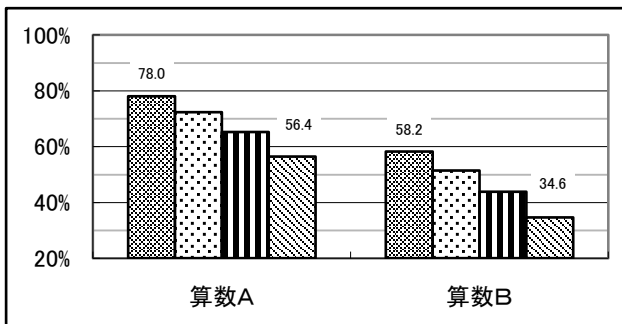


○算数・数学の問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える児童生徒、算数・数学の授業で、公式やきまりのわけ（根拠）を理解しようとする児童生徒の方が、算数・数学の正答率が高い傾向が見られる。

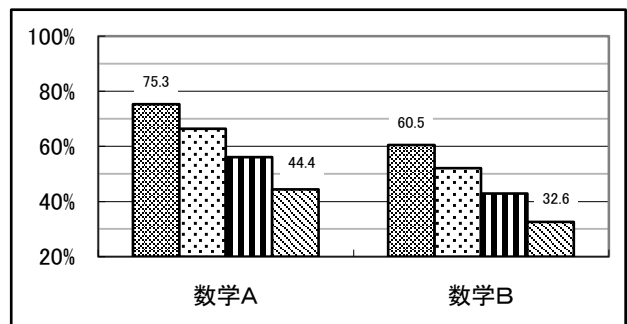


*質問 65：算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

【小学校】

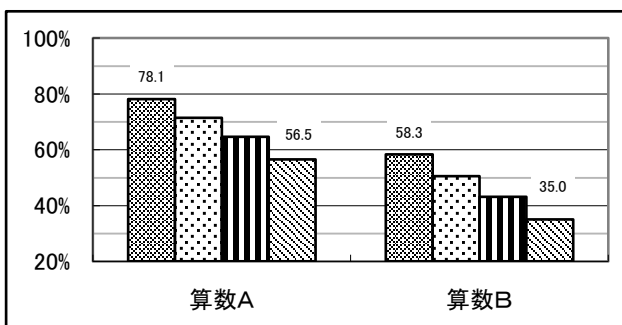


【中学校】

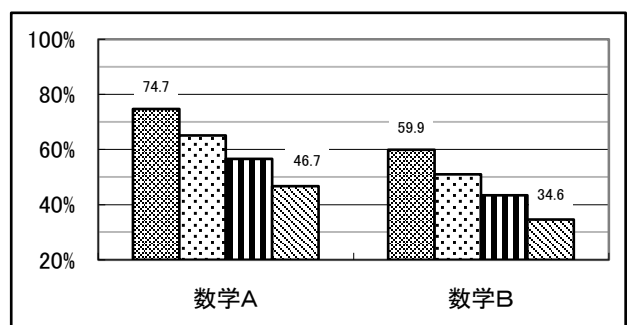


*質問 69：算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ（根拠）を理解するようにしていますか（新規）

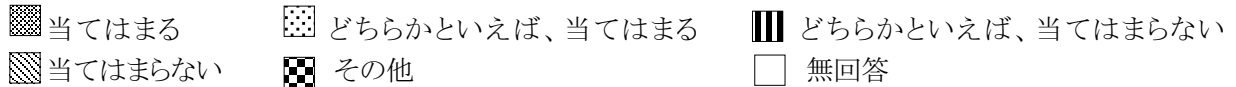
【小学校】



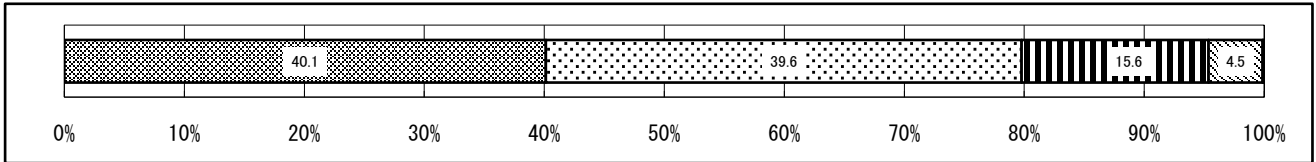
【中学校】



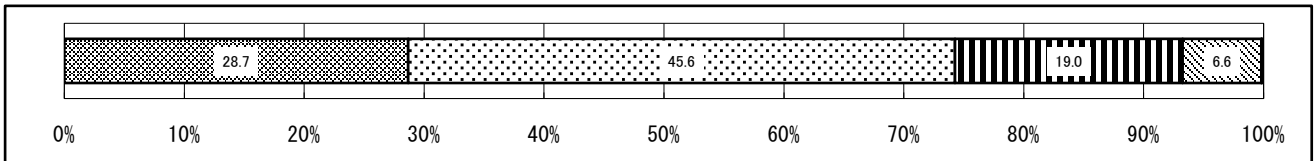
○授業で自分の考えを発表する機会があると思う児童の割合は約 80%、生徒の割合は約 74%である。



【小学校】*質問 48：普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか（新規）

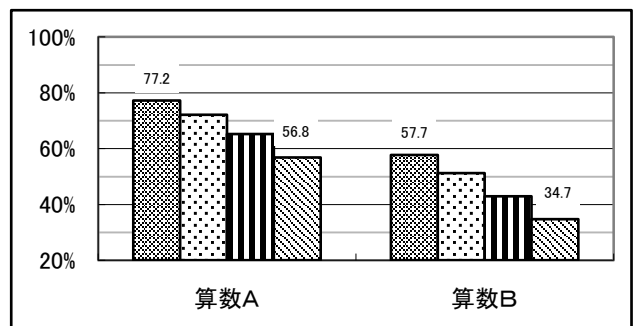
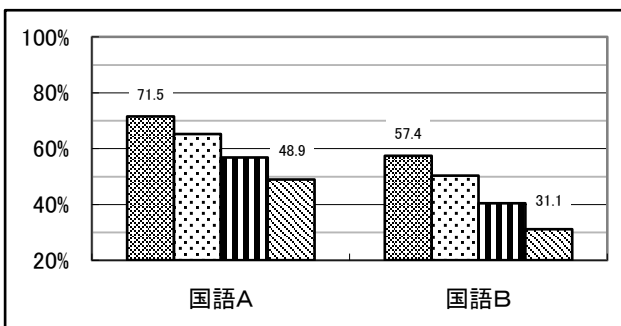


【中学校】*質問 48：普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか（新規）

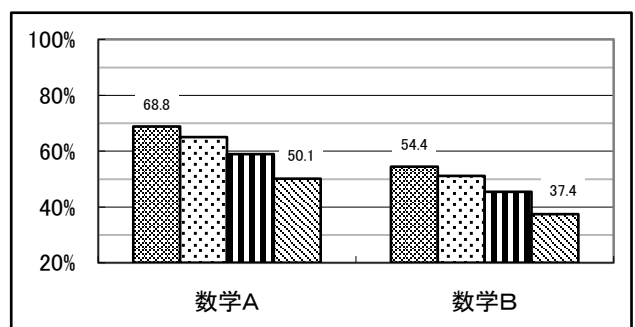
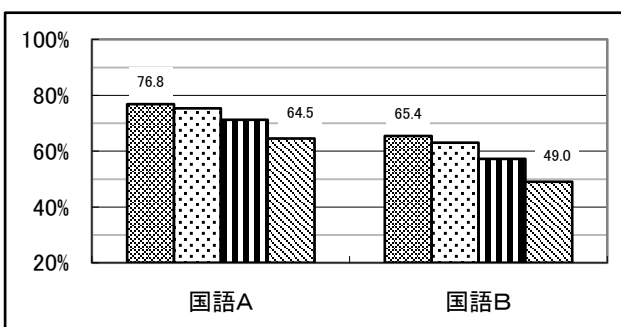


○授業で自分の考えを発表する機会があると思う児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

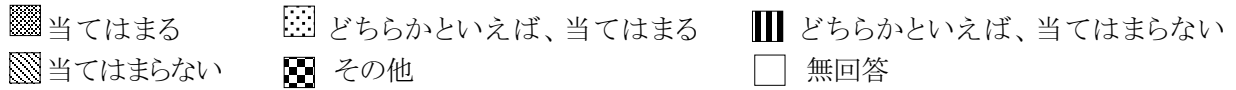
【小学校】*質問 48：普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか（新規）



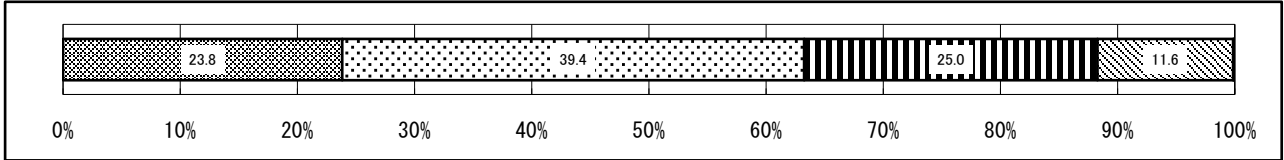
【中学校】*質問 48：普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか（新規）



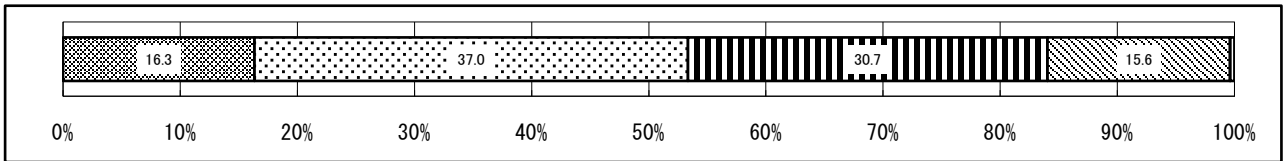
○テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している児童の割合は約63%、生徒の割合は約53%である。



【小学校】*質問 49: テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか (新規)

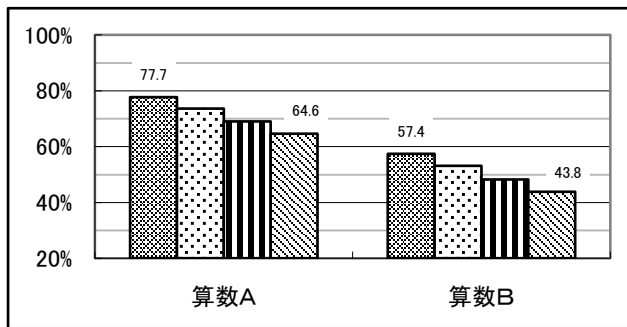
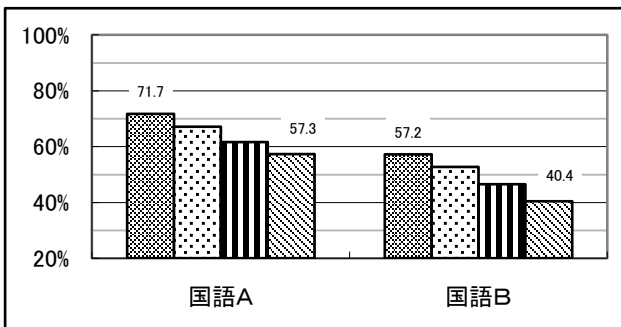


【中学校】*質問 49: テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか (新規)

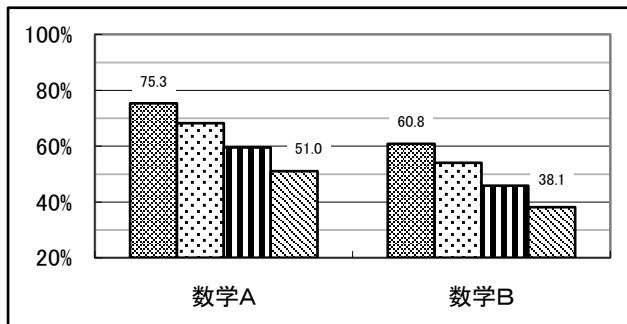
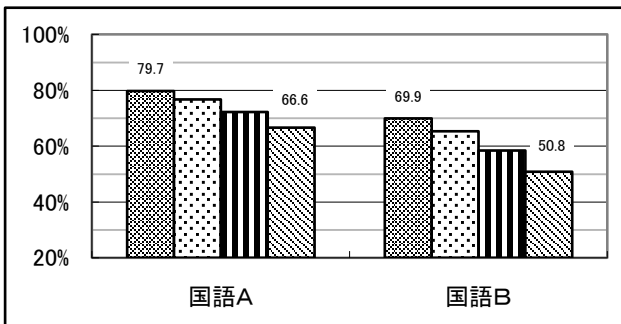


○テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】*質問 49: テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか (新規)

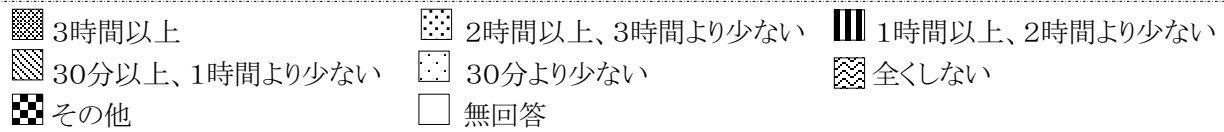


【中学校】*質問 49: テストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強していますか (新規)

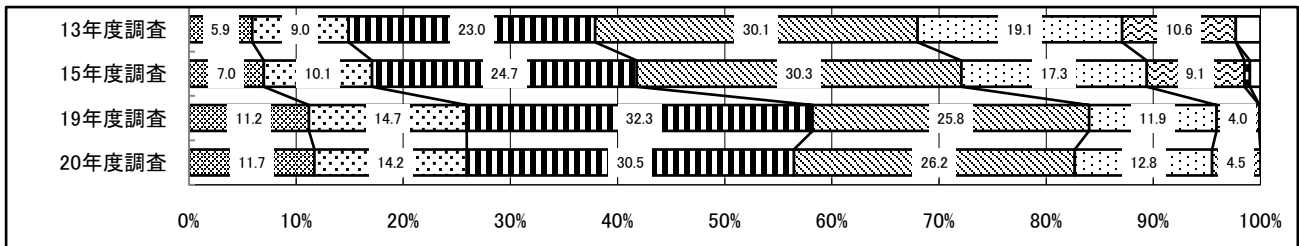


<学習時間等>

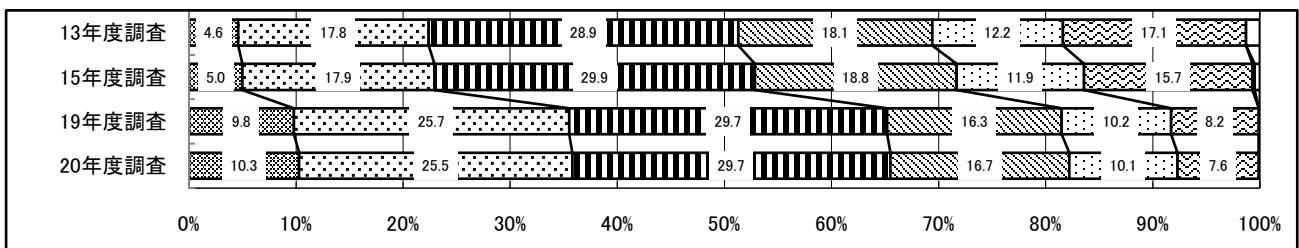
○1日当たりの児童生徒の学習時間は、19年度と比べ大きな変化は見られない。



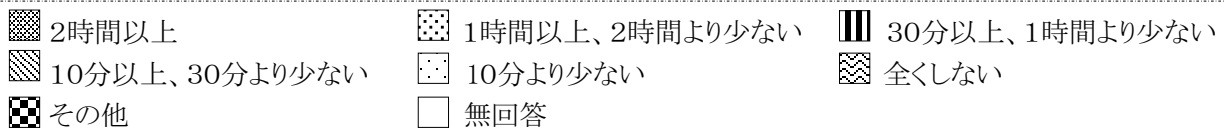
【小学校】*質問 16: 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



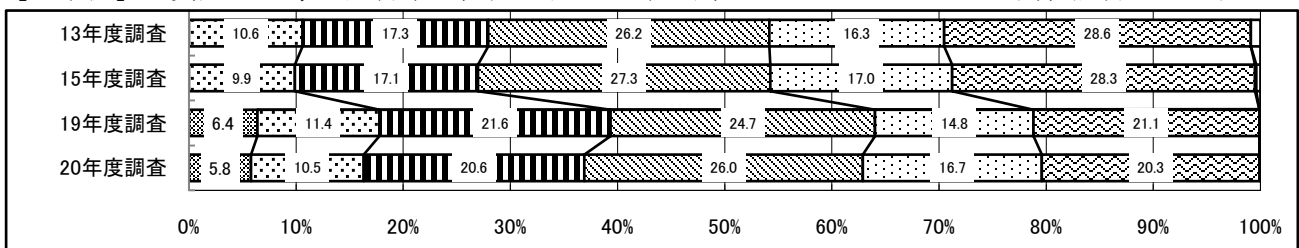
【中学校】*質問 16: 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



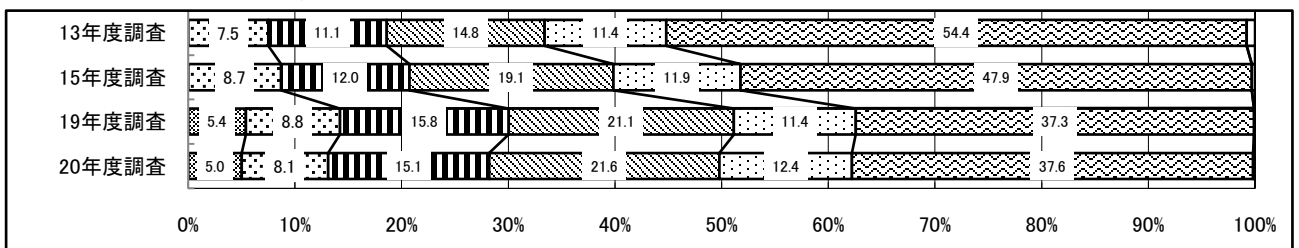
○家や図書館で1日当たり30分以上読書をする児童の割合は、19年度と比べやや低くなっているが、生徒の割合は大きな変化は見られない。



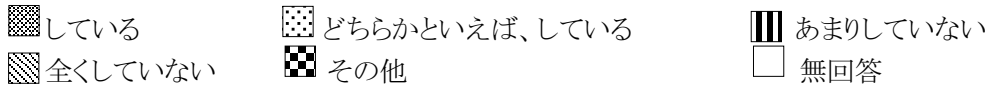
【小学校】*質問 18: 家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか



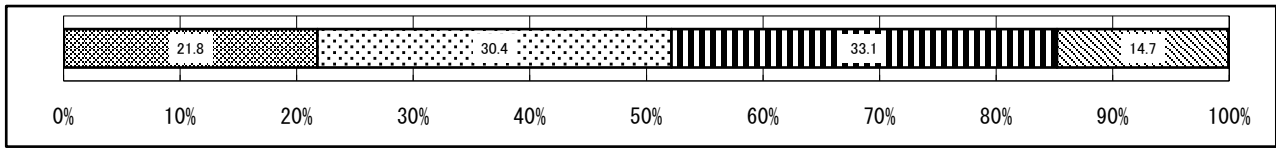
【中学校】*質問 18: 家や図書館で、普段(月～金曜日)、1日にどれくらいの時間、読書をしますか



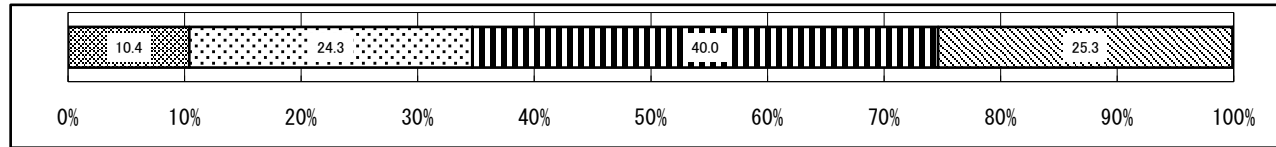
○家で自分で計画を立てて勉強をする児童の割合は約 52%、生徒の割合は約 35%である。



【小学校】*質問 25：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（新規）

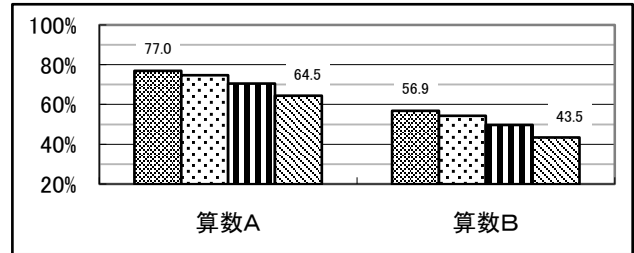
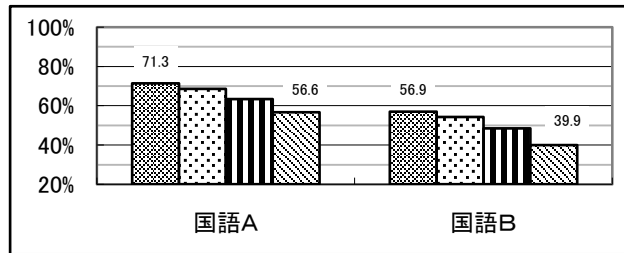


【中学校】*質問 25：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（新規）

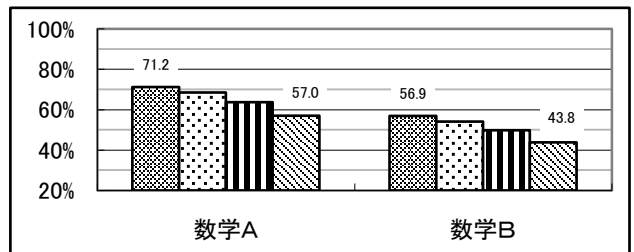
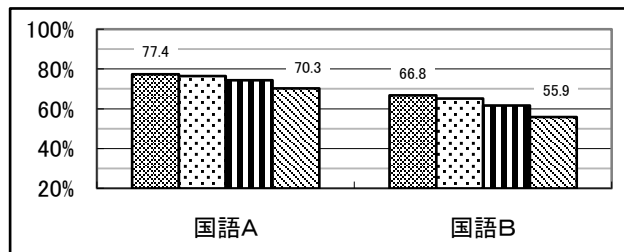


○家で自分で計画を立てて勉強をする児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】*質問 25：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（新規）



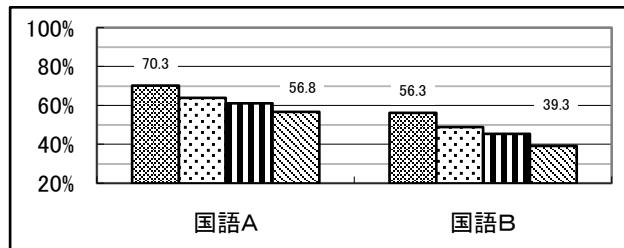
【中学校】*質問 25：家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（新規）



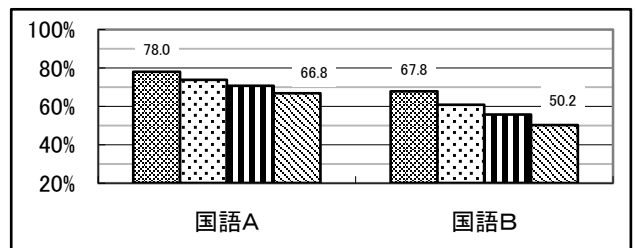
○読書が好きな児童生徒の方が、国語の正答率が高い傾向が見られる。



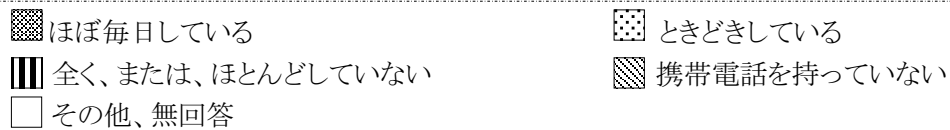
【小学校】*質問 53：読書は好きですか



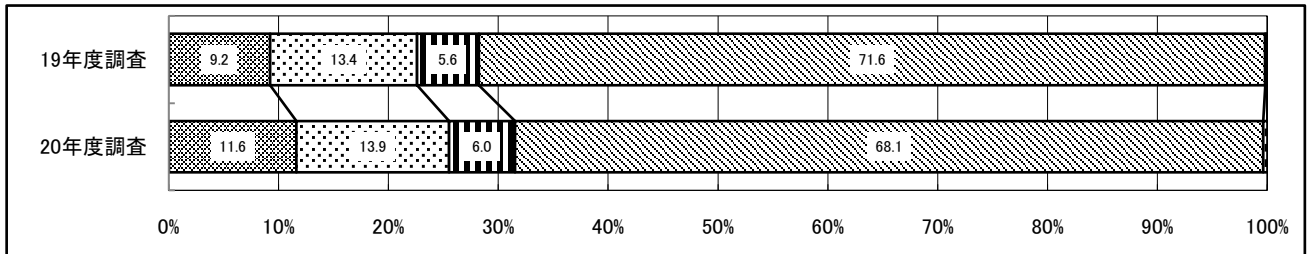
【中学校】*質問 53：読書は好きですか



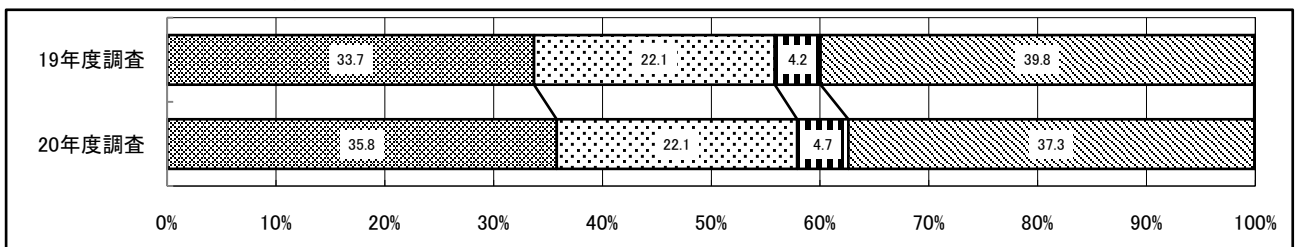
○携帯電話で通話やメールをほぼ毎日している児童生徒の割合は、19年度と比べやや高くなっており、携帯電話を持っていない児童生徒の割合は、やや低くなっている。



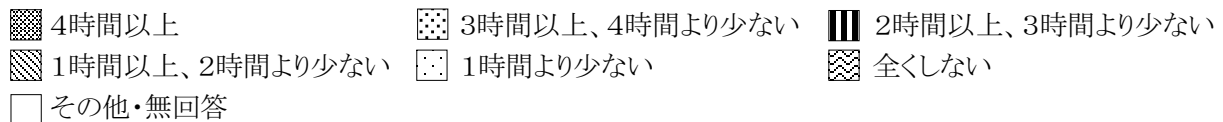
【小学校】*質問 15：携帯電話で通話やメールをしていますか



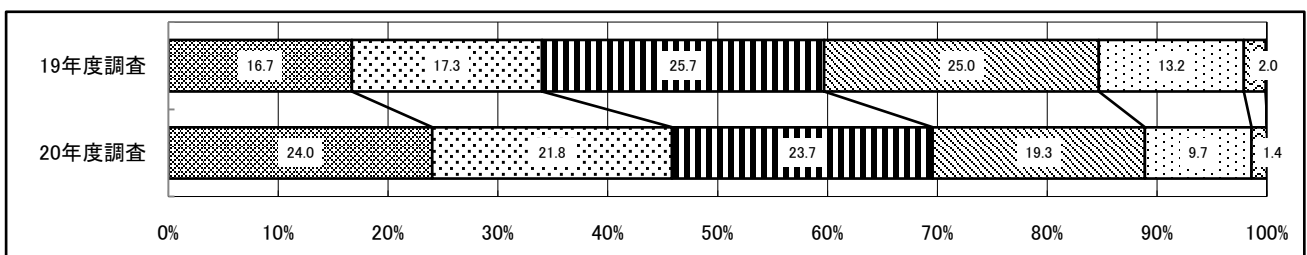
【中学校】*質問 15：携帯電話で通話やメールをしていますか



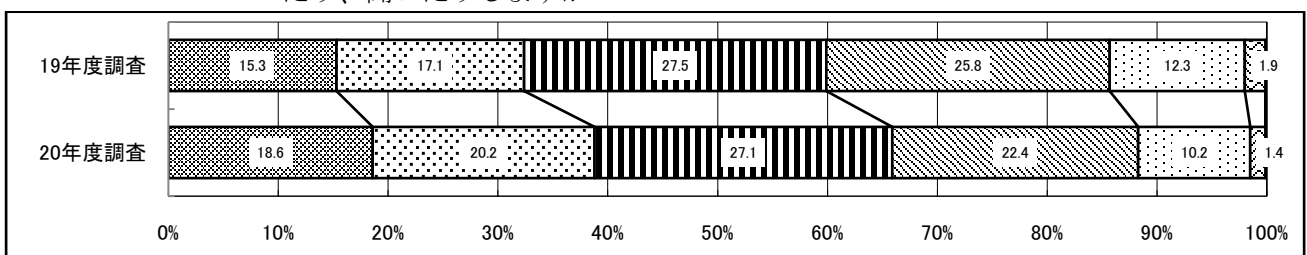
○テレビやビデオ・DVDを3時間以上見たり、聞いたりする児童生徒の割合は、19年度と比べ高くなっている。



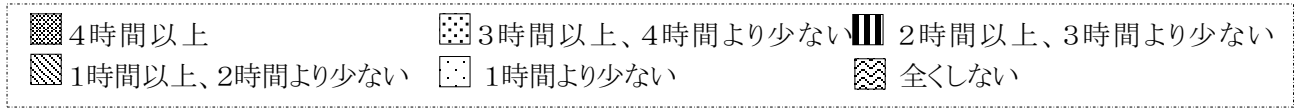
【小学校】*質問 12：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



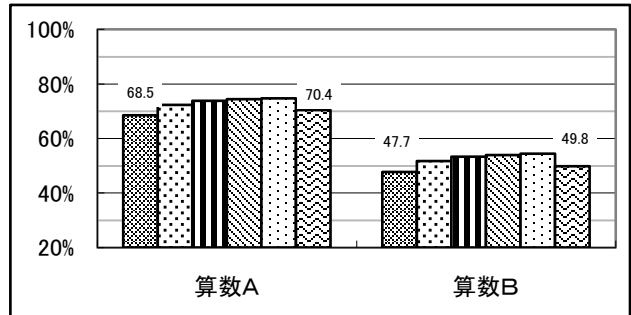
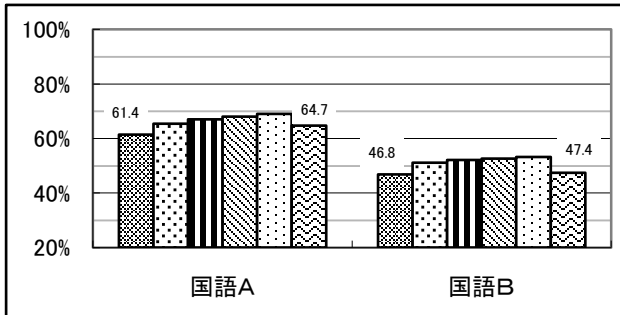
【中学校】*質問 12：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



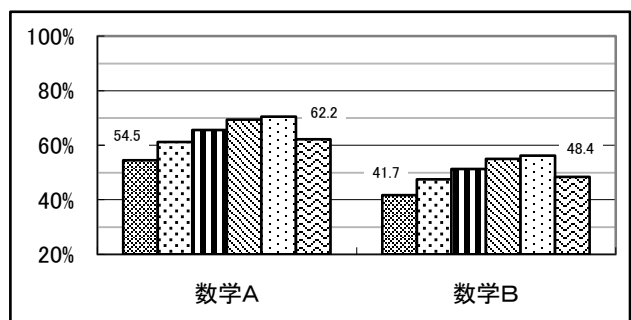
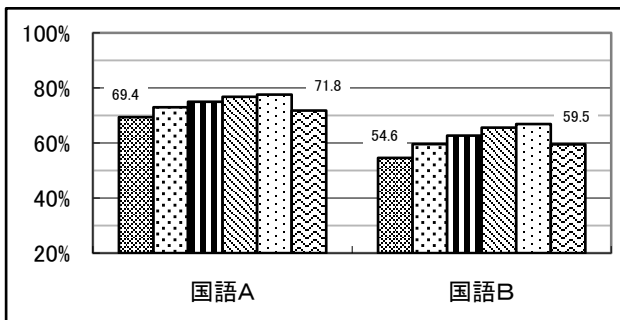
○テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間が短い児童生徒、テレビゲームをする時間が短い児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。



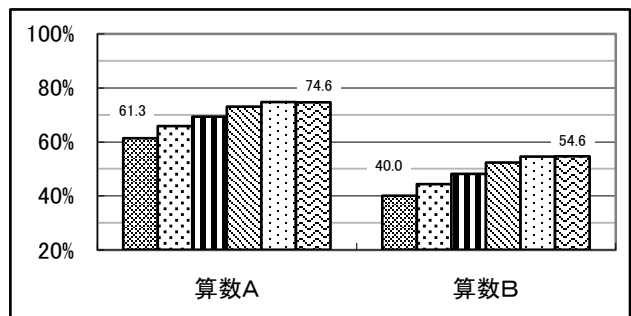
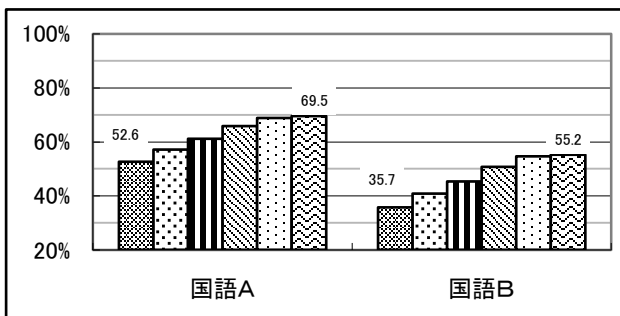
【小学校】*質問 12：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



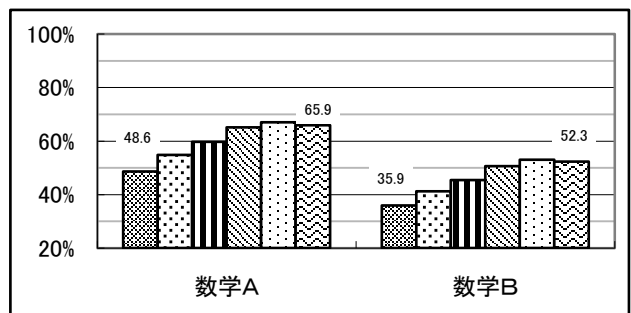
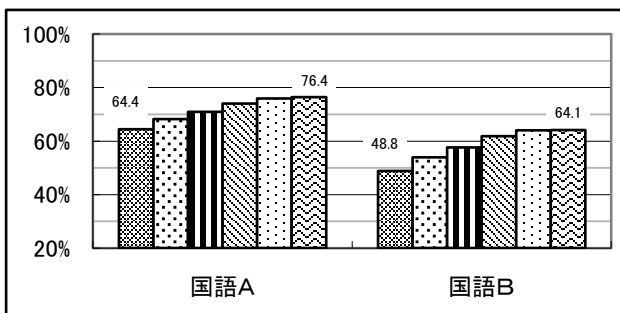
【中学校】*質問 12：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか



【小学校】*質問 13：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

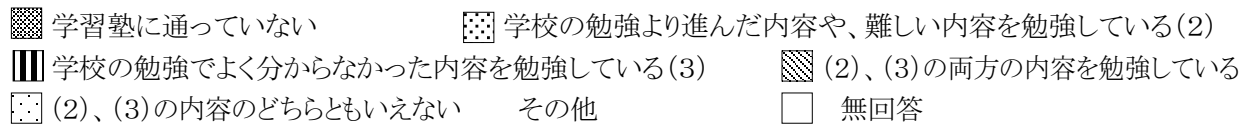


【中学校】*質問 13：普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

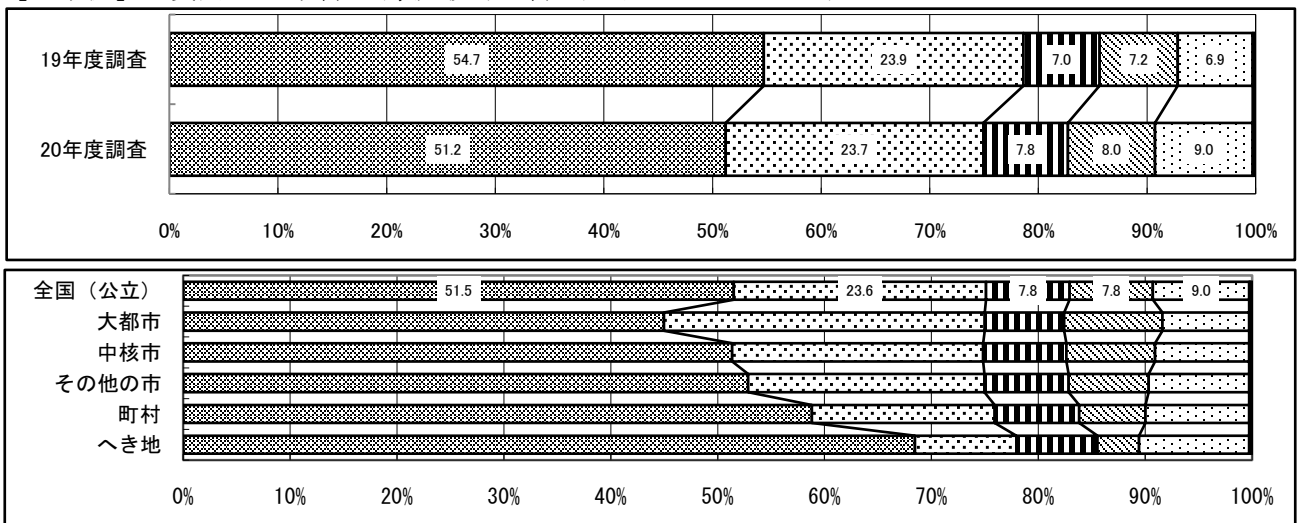


<学習塾>

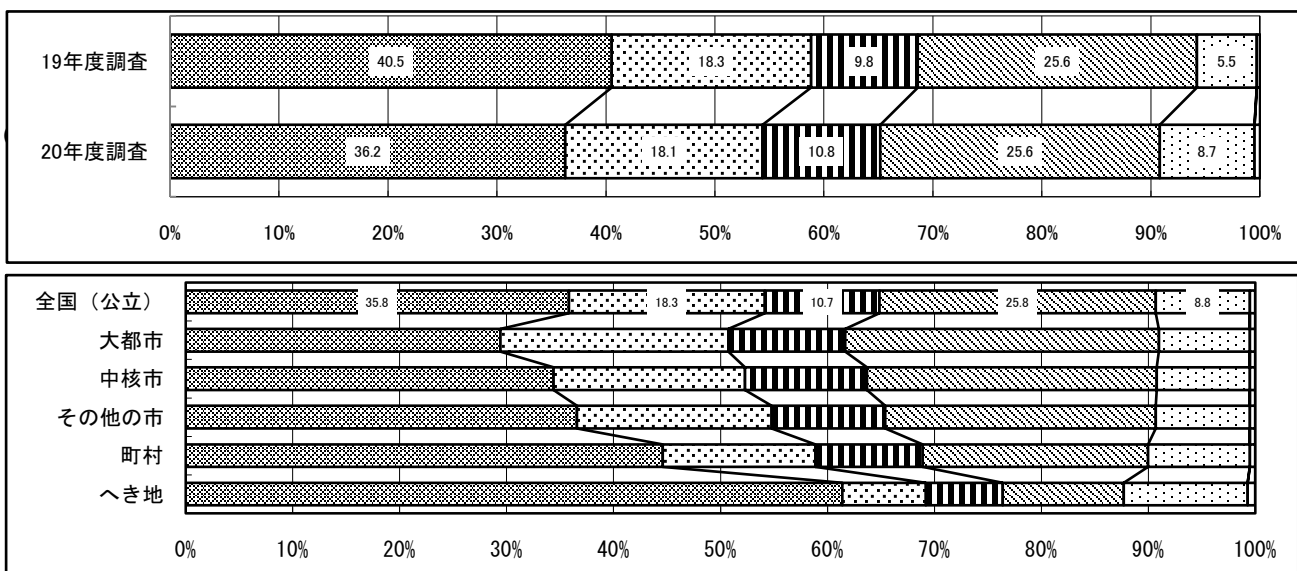
- 学習塾（家庭教師を含む）で勉強している児童生徒の割合は、19年度と比べやや高くなっている。
- 学習塾（家庭教師を含む）で、「学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を勉強している」児童生徒の割合は、19年度同様、地域の規模等が大きい方が高い傾向が見られる。



【小学校】*質問19：学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか

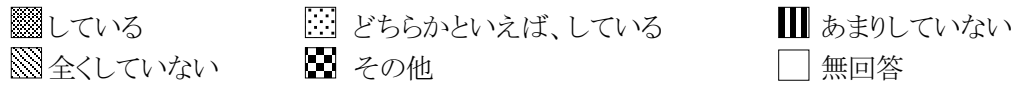


【中学校】*質問19：学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか

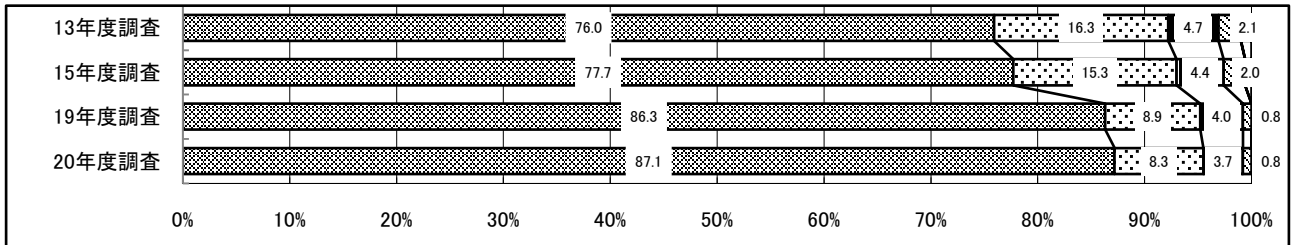


<基本的生活習慣>

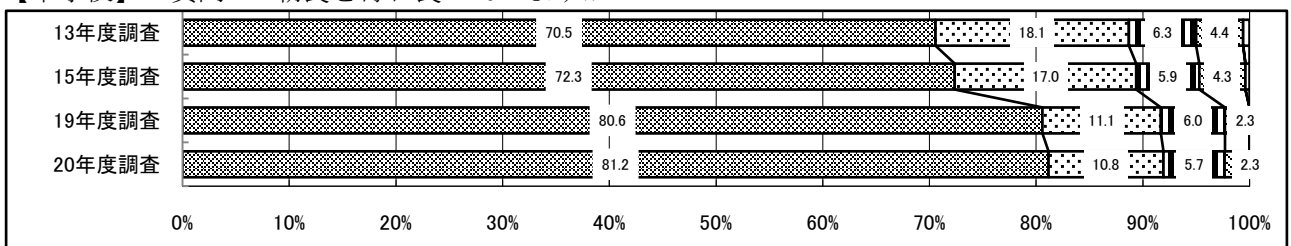
○朝食を毎日食べる児童生徒の割合に、若干の増加傾向がうかがえる。



【小学校】*質問1：朝食を毎日食べていますか

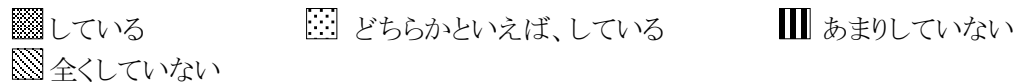


【中学校】*質問1：朝食を毎日食べていますか

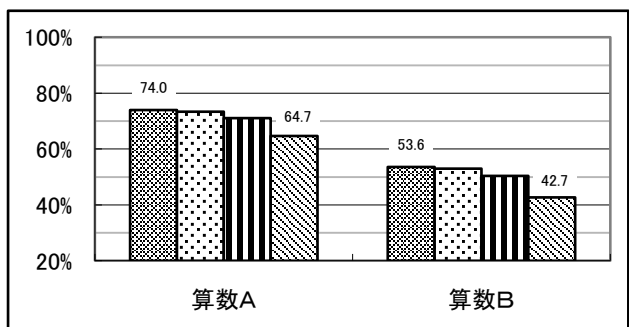
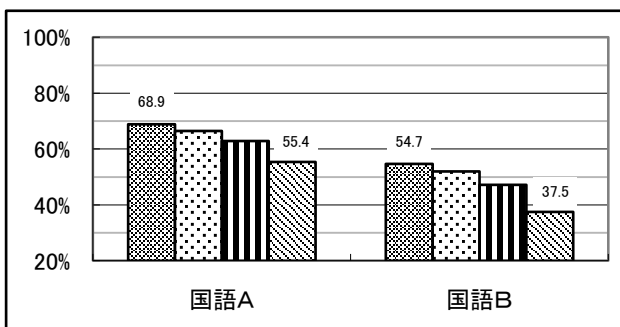


<家庭でのコミュニケーション>

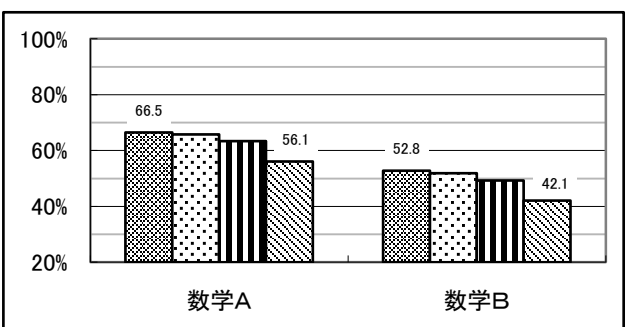
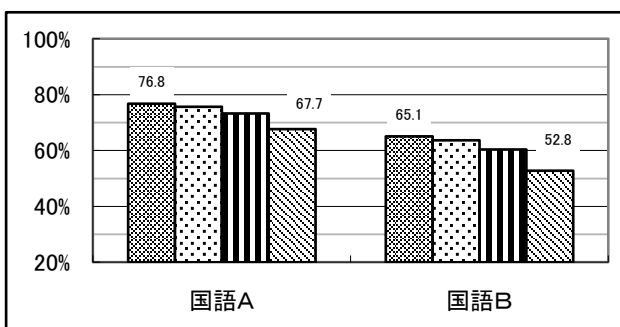
○家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。



【小学校】*質問22：家の人と学校での出来事について話をしていますか

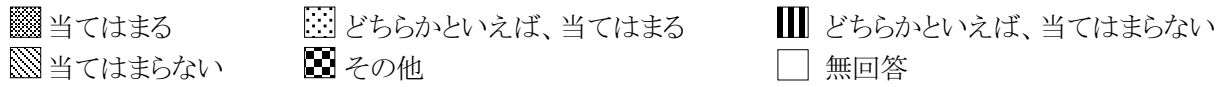


【中学校】*質問22：家の人と学校での出来事について話をしていますか

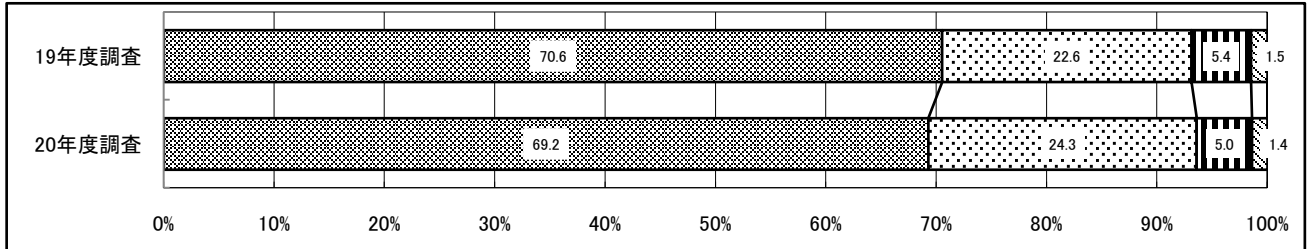


<自尊意識>

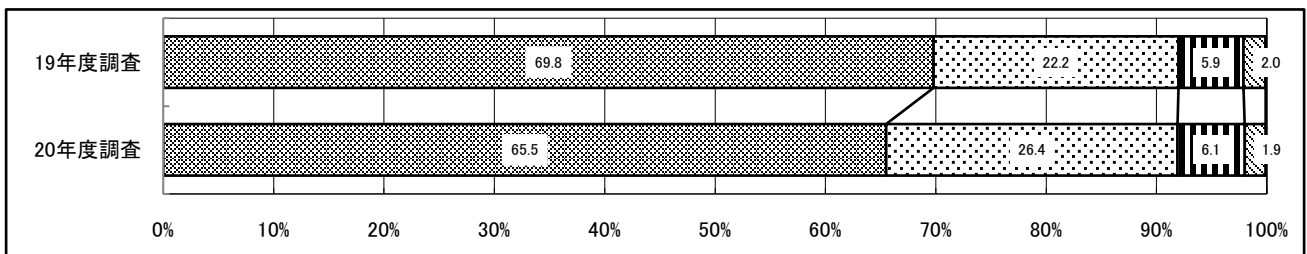
○ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある児童生徒の割合は、19年度と比べ大きな変化は見られない。



【小学校】*質問5：ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか

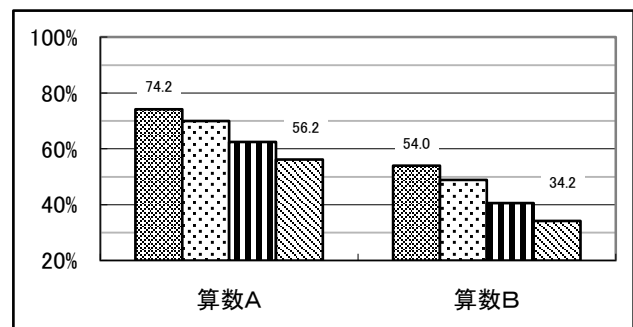
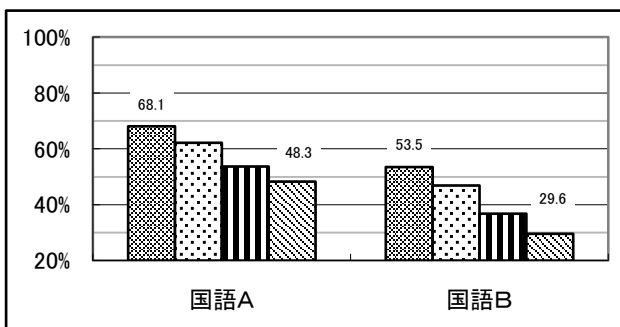


【中学校】*質問5：ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか

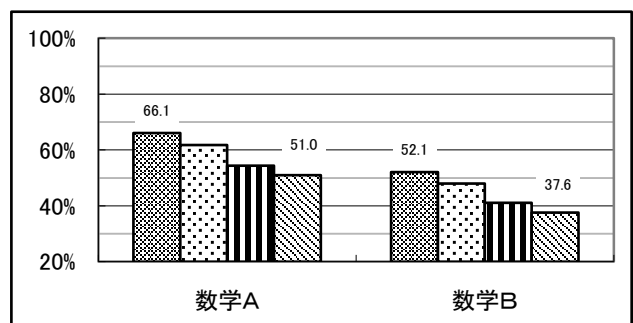
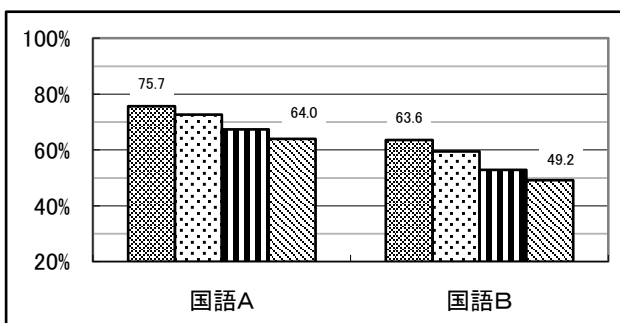


○ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】*質問5：ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか

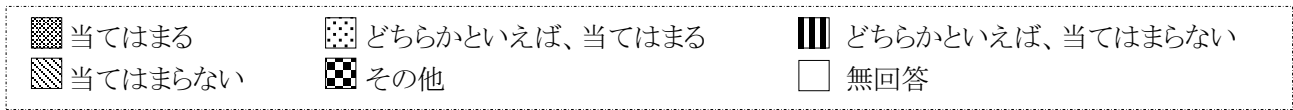


【中学校】*質問5：ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがありますか

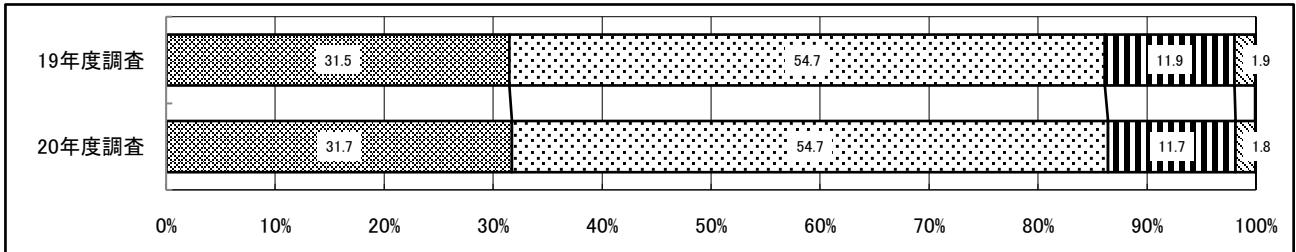


<規範意識>

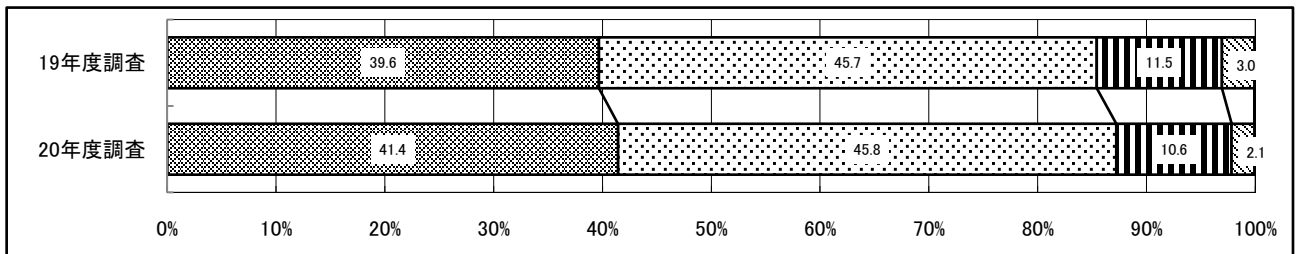
○学校のきまり・規則を守っている児童生徒の割合は、19年度と比べ大きな変化は見られない。



【小学校】*質問 34：学校のきまりを守っていますか

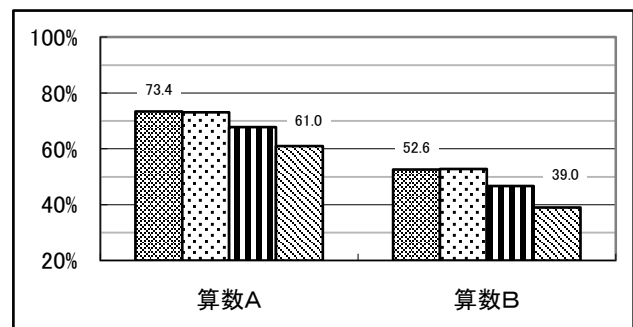
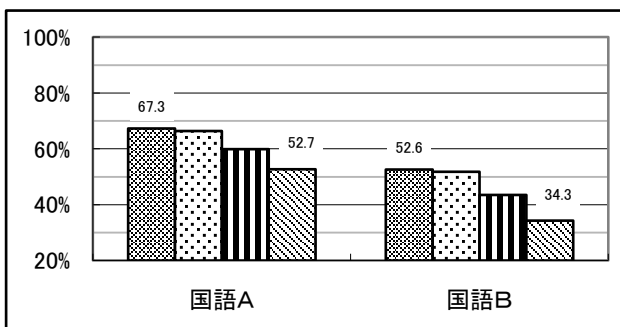


【中学校】*質問 34：学校の規則を守っていますか

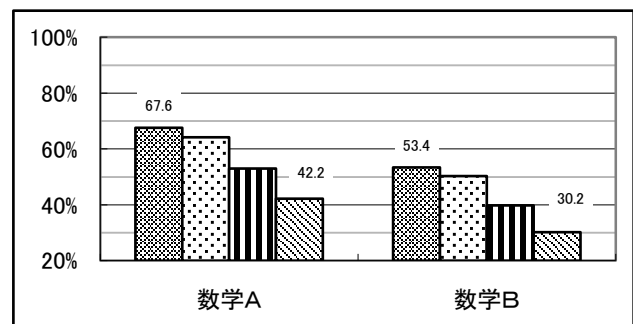
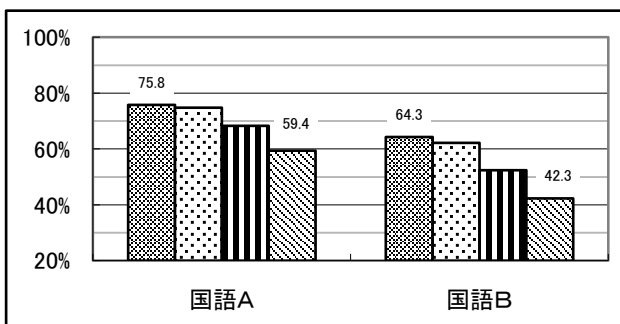


○学校のきまり・規則を守っている児童生徒の方が、正答率が高い傾向が見られる。

【小学校】*質問 34：学校のきまりを守っていますか



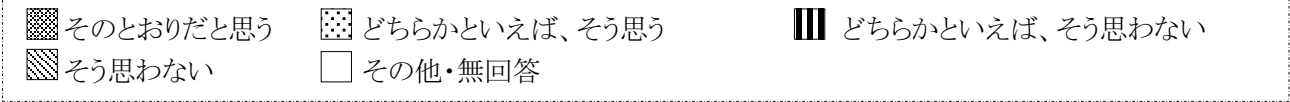
【中学校】*質問 34：学校の規則を守っていますか



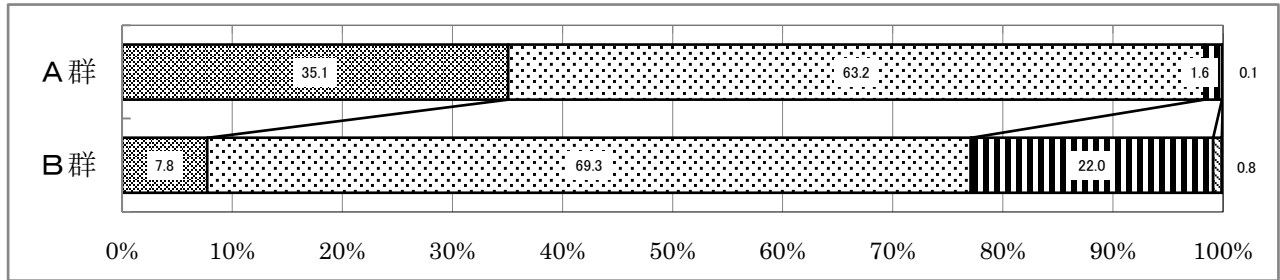
○学校質問紙

<学習態度>

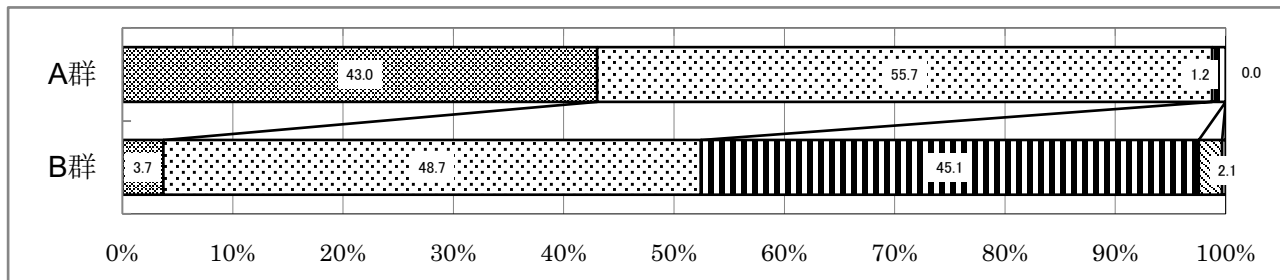
○平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、児童生徒は、熱意をもって勉強していると思う、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思うと回答している割合が高い傾向が見られる。



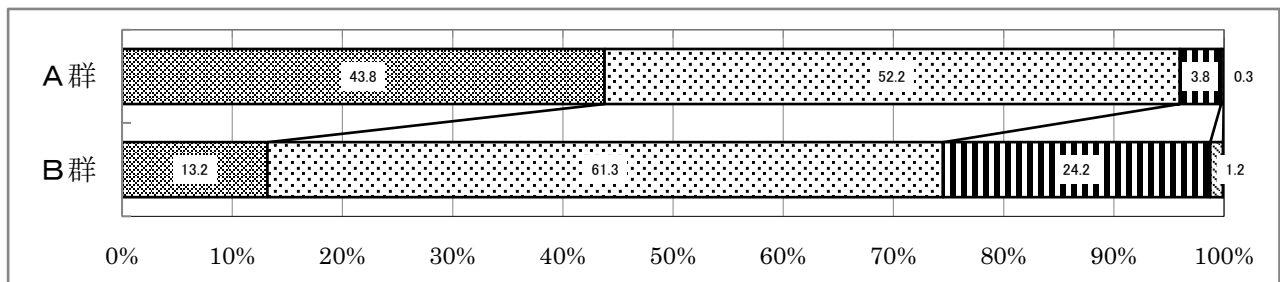
【小学校】*質問 11： 児童は、熱意をもって勉強していると思いますか



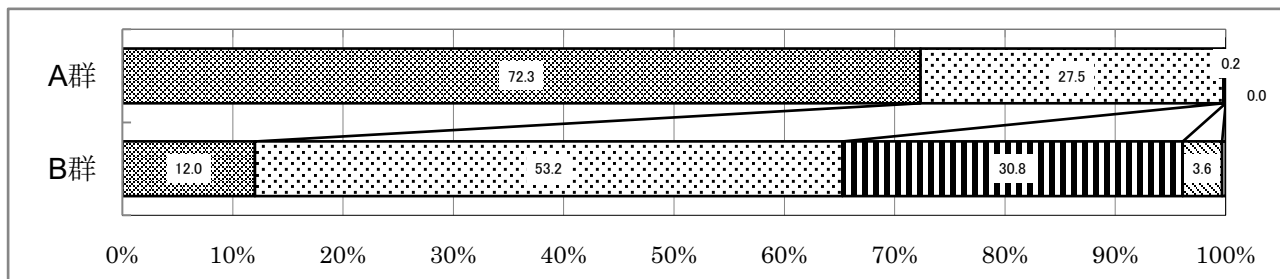
【中学校】*質問 11： 生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか



【小学校】*質問 12： 児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



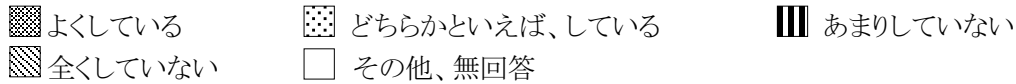
【中学校】*質問 12： 生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



※A群およびB群による比較を行っているグラフについては、小学校第6学年又は中学校第3学年の学級数が2学級以上の公立学校（特別支援学校を除く）について分析している。国語A・B、算数（数学）A・Bのすべてにおいて、学校の平均正答率が、公立学校に在籍する児童生徒の正答率の全国平均を5ポイント以上上回る公立学校を「A群」、全国平均を5ポイント以上下回る公立学校を「B群」とする。

<学習態度と学校の取組>

○児童生徒が熱意をもって勉強していると思うと回答している学校の方が、教職員が校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている、学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていると回答している割合が高い傾向が見られる。

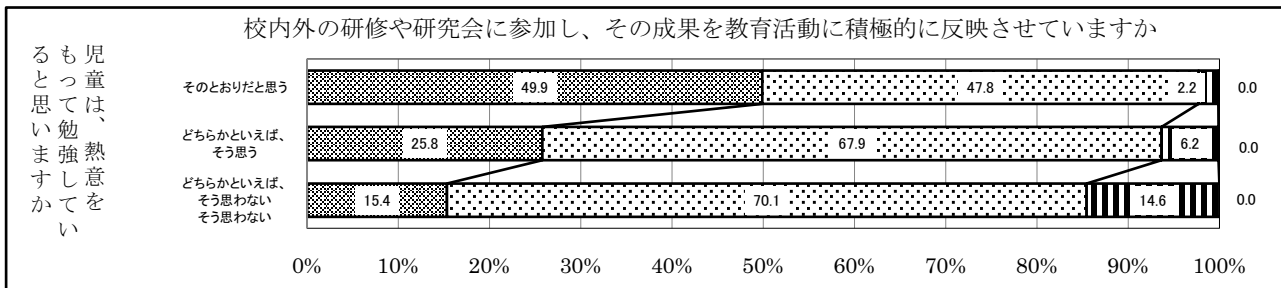


*質問 11(11) : 児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

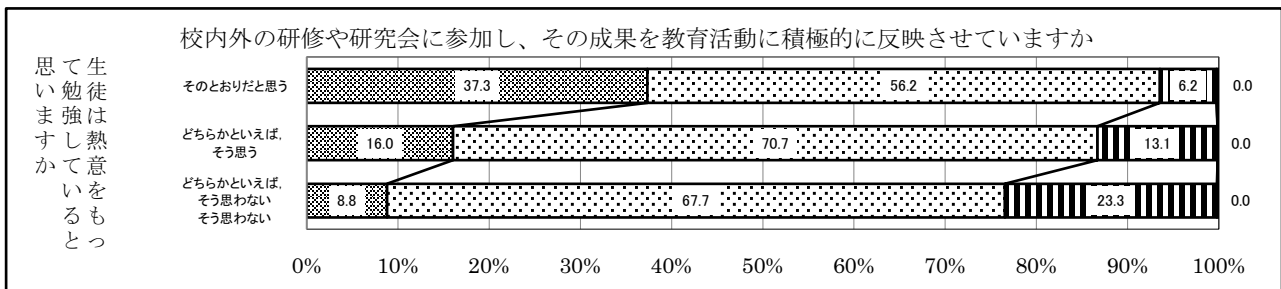
*質問 92(90) : 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

【小学校】

(新規)



【中学校】

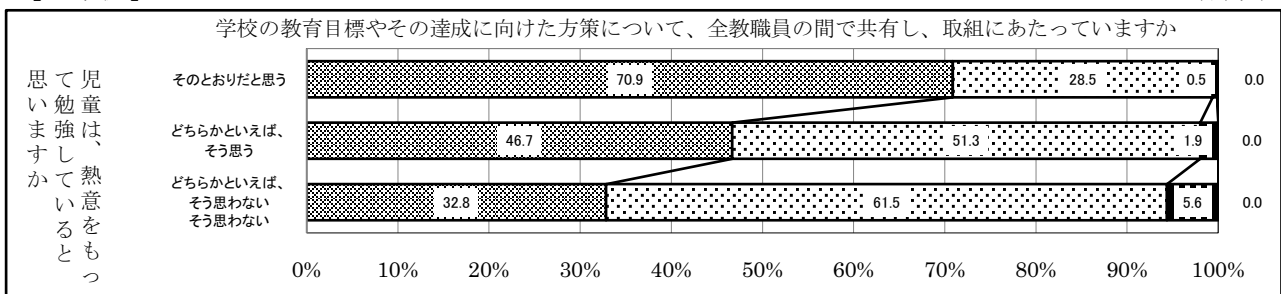


*質問 11(11) : 児童生徒は熱意をもって勉強していると思いますか

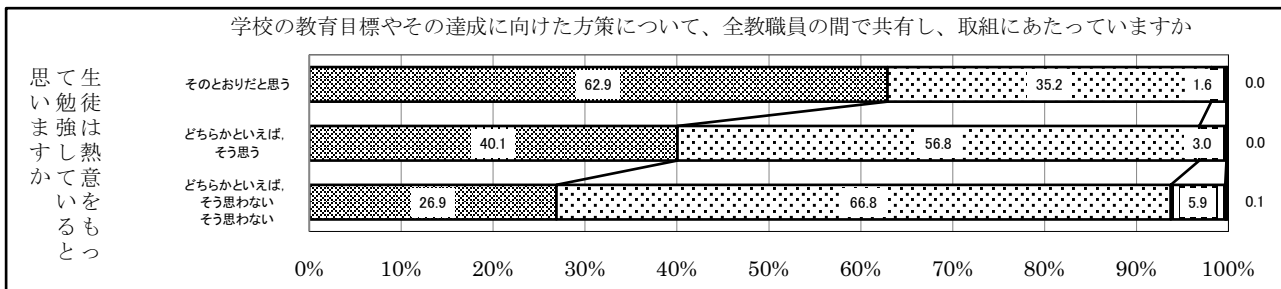
*質問 94(92) : 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあたっていますか

【小学校】

(新規)



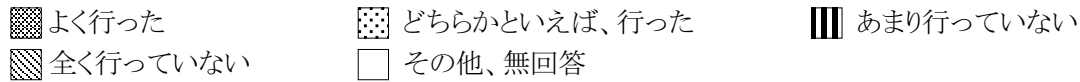
【中学校】



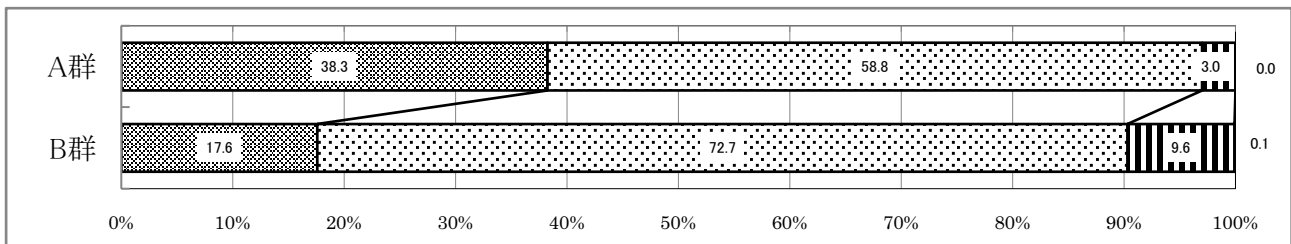
※ () 内の質問番号は、中学校調査の質問番号である。

<指導方法・学習規律>

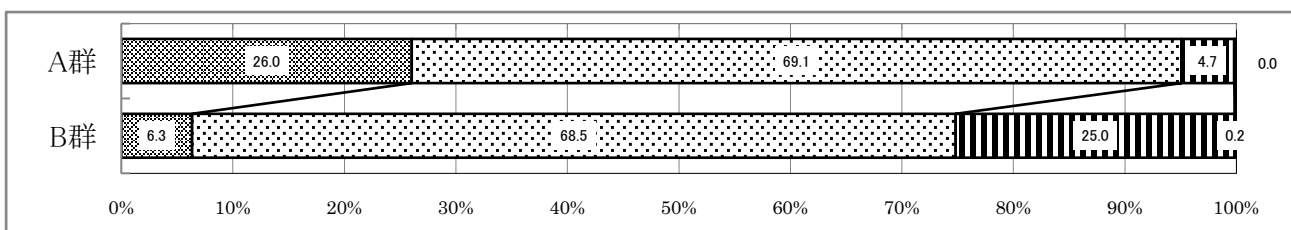
○平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校(A群)の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校(B群)より、児童生徒の思考を深めるような発問や指導をしていると回答している割合が高い傾向が見られる。



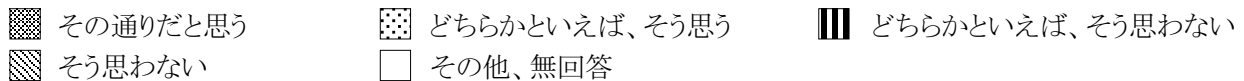
【小学校】*質問 26：児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか



【中学校】*質問 26：生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか



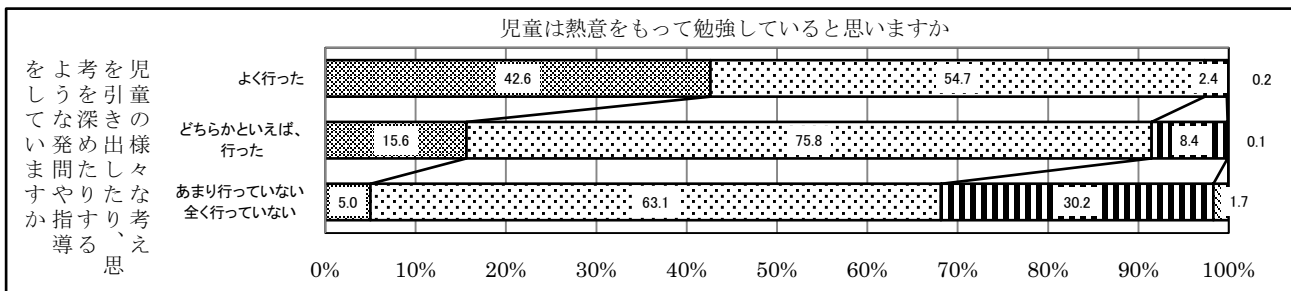
○様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている学校の方が、児童生徒が熱意をもって勉強していると思うと回答している割合が高い傾向が見られる。



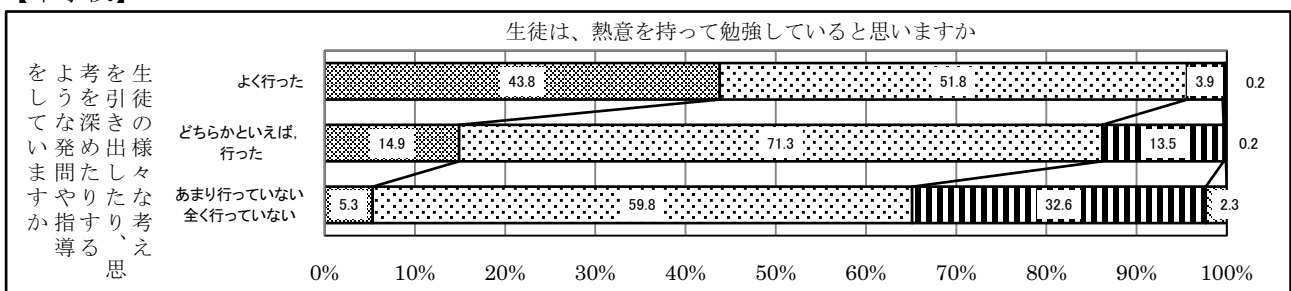
*質問 26：児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか(新規)

*質問 11：児童生徒は熱意をもって勉強していると思いますか

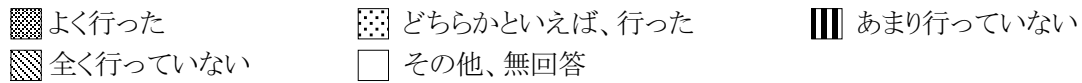
【小学校】



【中学校】

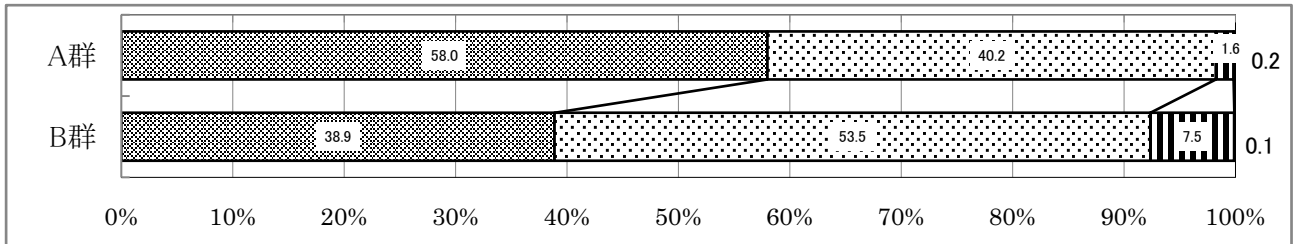


○平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校(A群)の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校(B群)より、私語をしないなど学習規律の維持を徹底していると回答している割合が高い傾向が見られる。

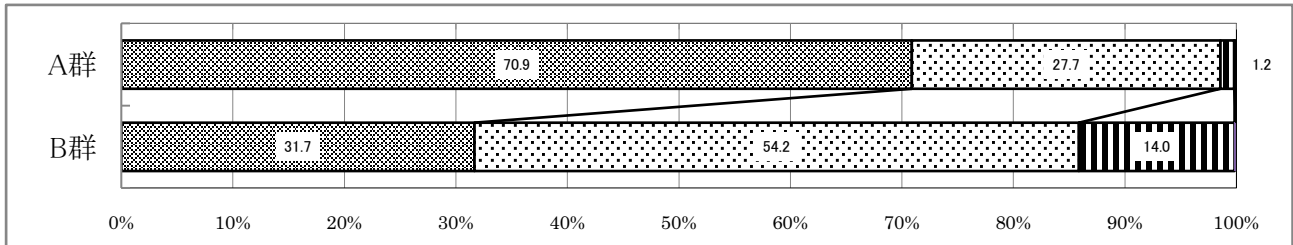


*質問 29：学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか（新規）

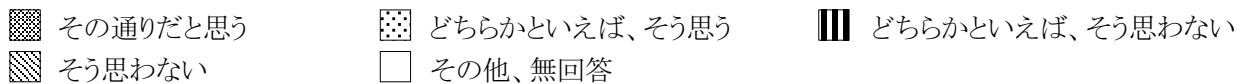
【小学校】



【中学校】



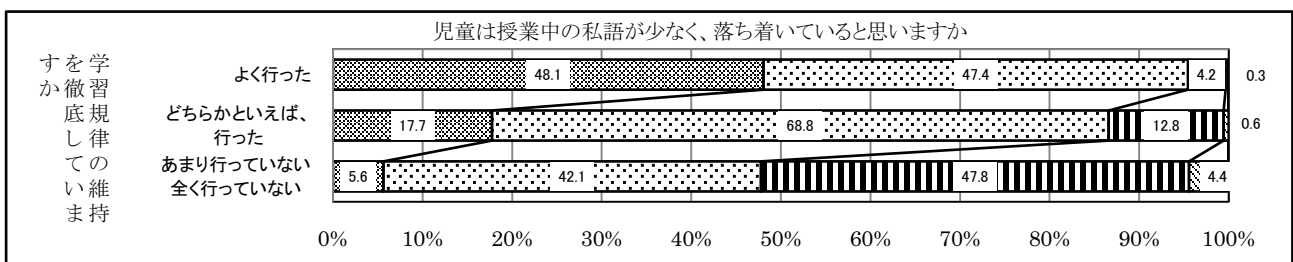
○私語をしないなど学習規律の維持を徹底している学校の方が、児童生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いていると思うと回答している割合が高い傾向が見られる。



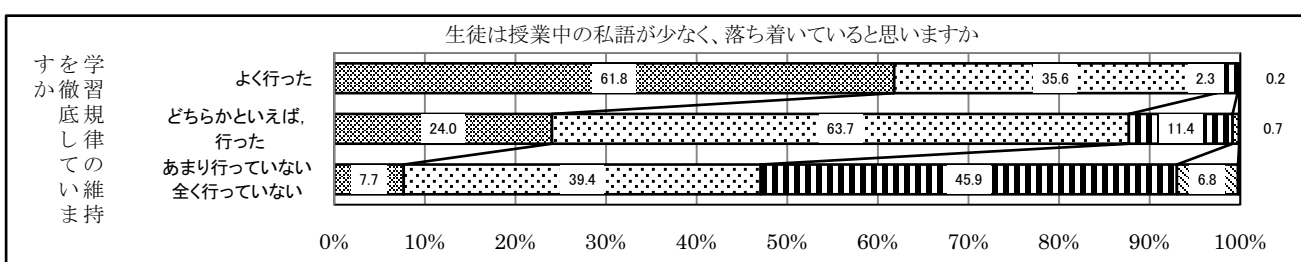
*質問 29：学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をするなど）の維持を徹底していますか（新規）

*質問 12：児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【小学校】

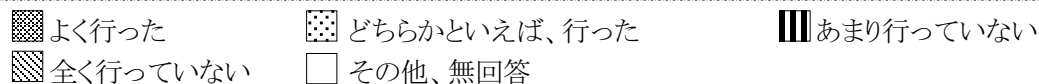


【中学校】

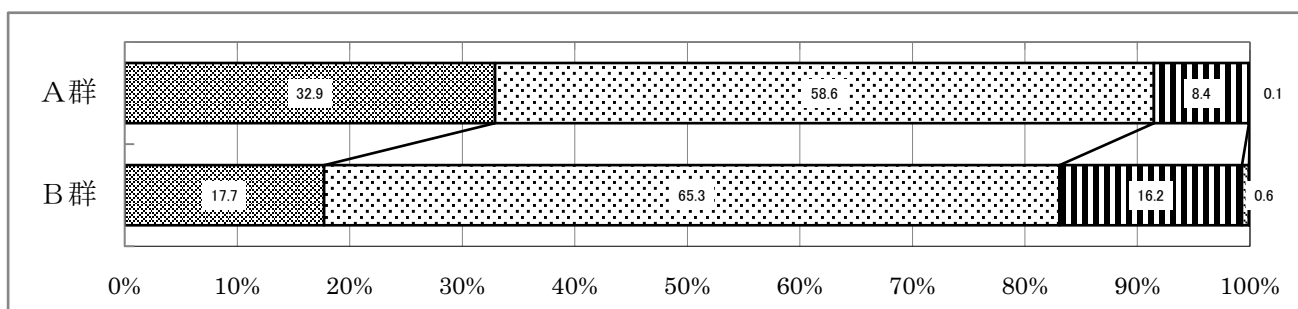
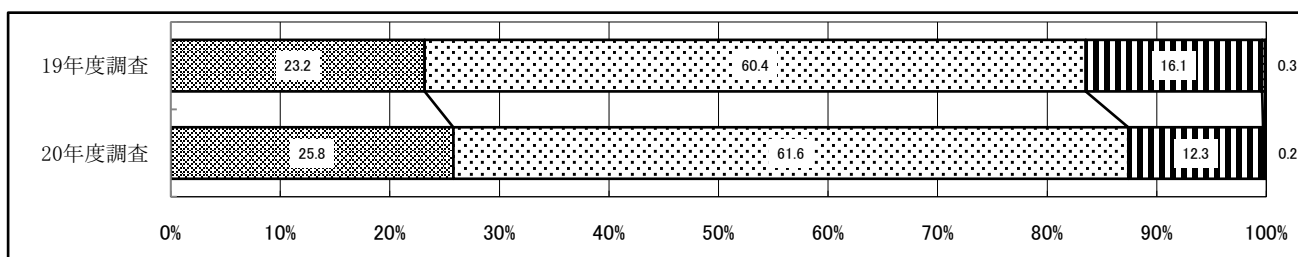


<国語科の指導方法>

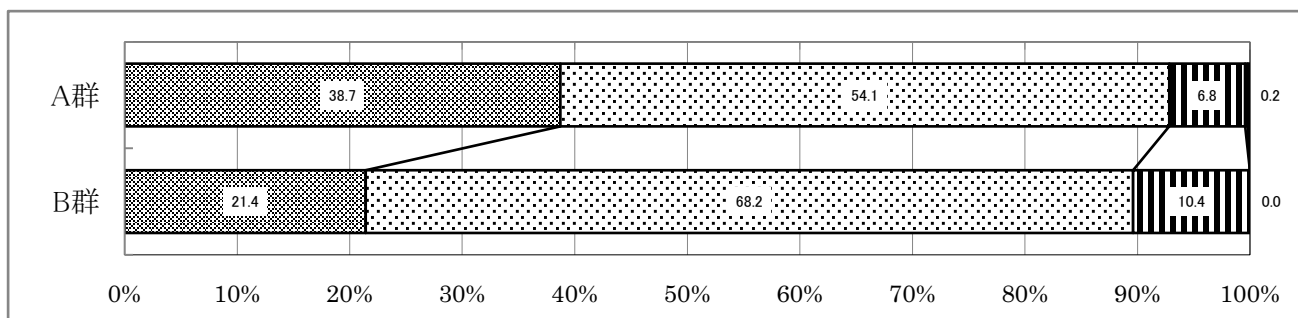
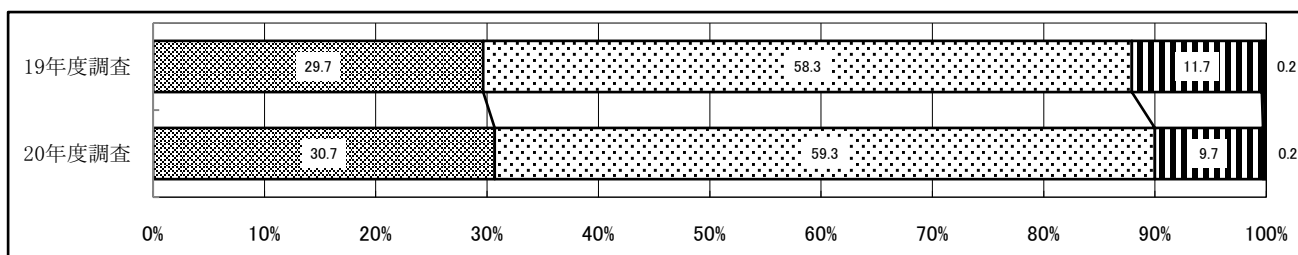
- 国語の指導として、書く習慣を身に付ける授業を行った学校の割合は、19年度と比べやや高くなっている。
- 平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行った割合が高い傾向が見られる。



【小学校】*質問 54：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか

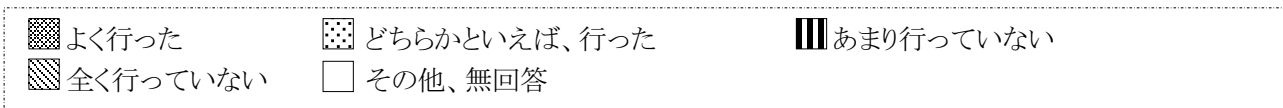


【中学校】*質問 54：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか

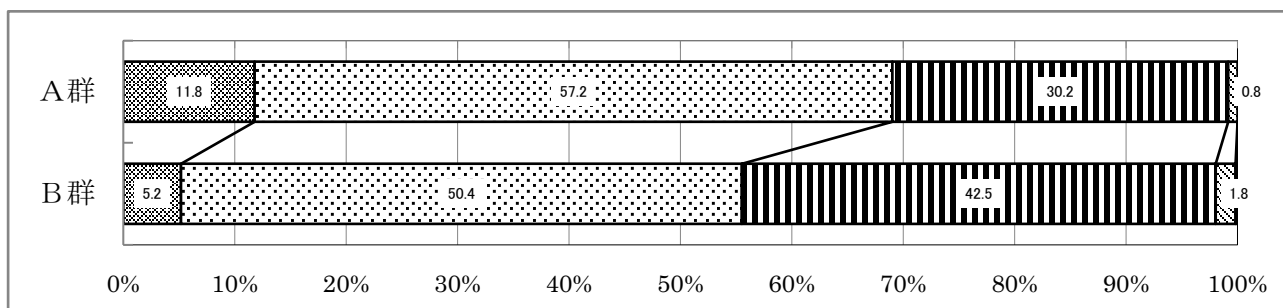
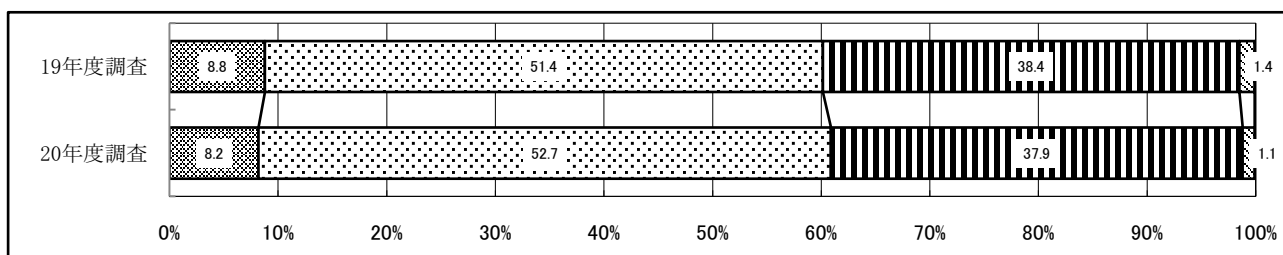


<算数・数学科の指導方法>

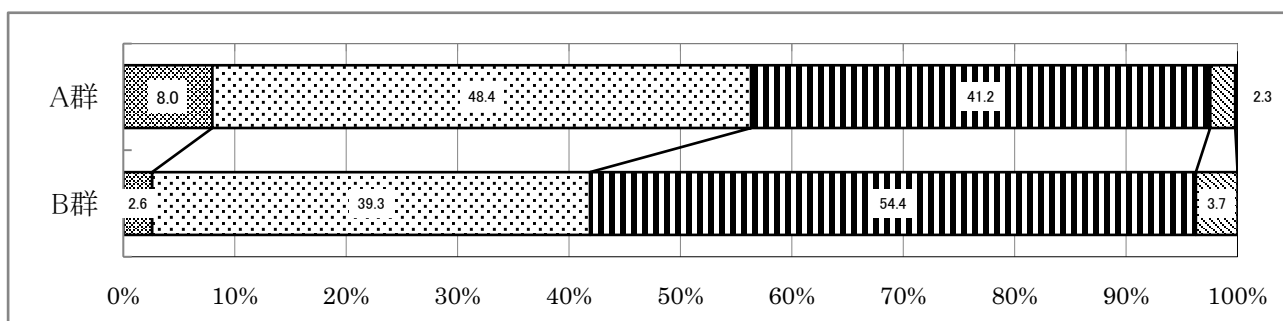
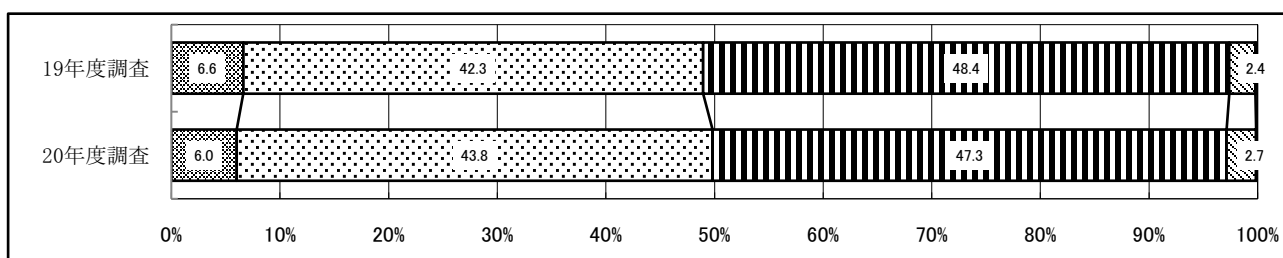
- 算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った学校の割合は、19年度と比べ大きな変化は見られない。
- 平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、算数・数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った割合が高い傾向が見られる。



【小学校】*質問 60：算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【中学校】*質問 59：数学の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



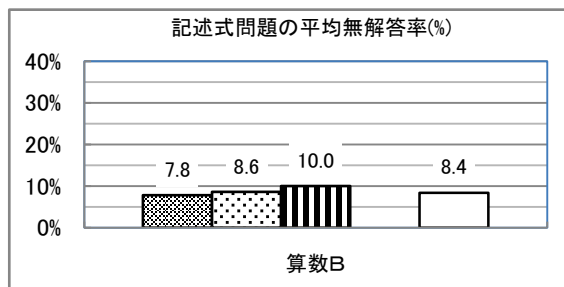
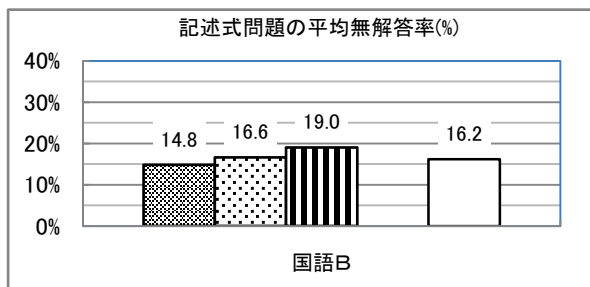
<記述式問題の平均無解答率との相関関係>

○国語・算数（数学）の指導として、児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしている学校や、適切にノートをとるなど学習方法に関する指導をしている学校の方が、記述式問題の平均無解答率が低い傾向が見られる。

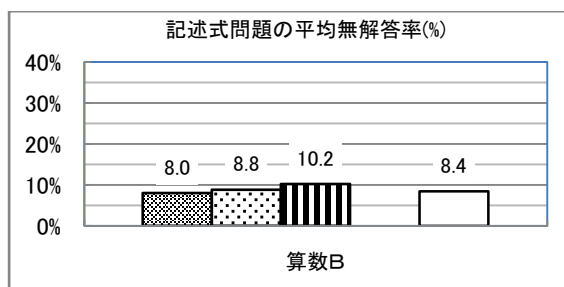
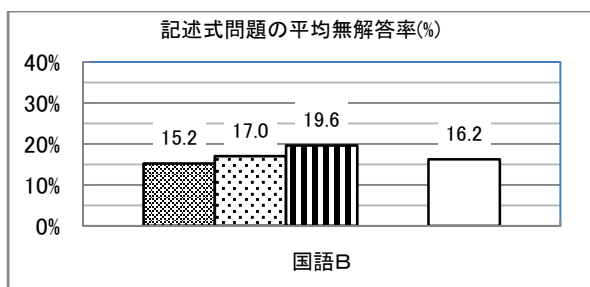
よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行っていない／全く行っていない
 全体

【小学校】

* 質問 26：児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか(新規)

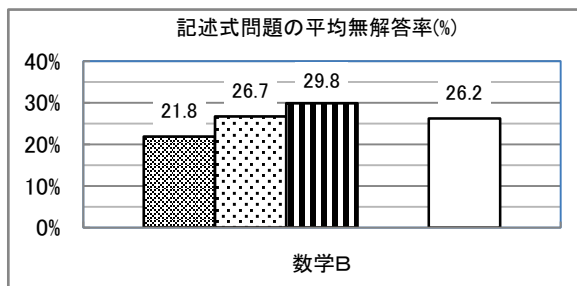
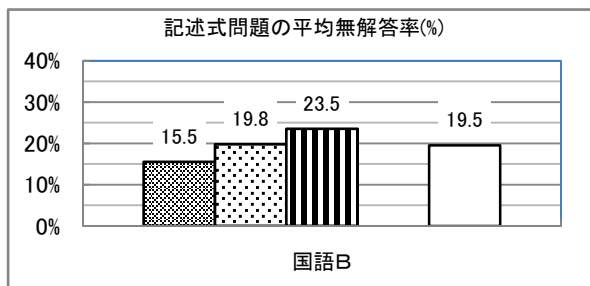


* 質問 30：学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしていますか(新規)

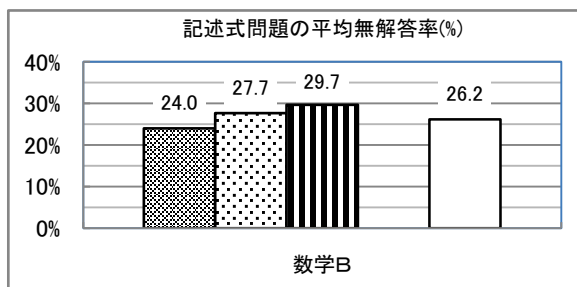
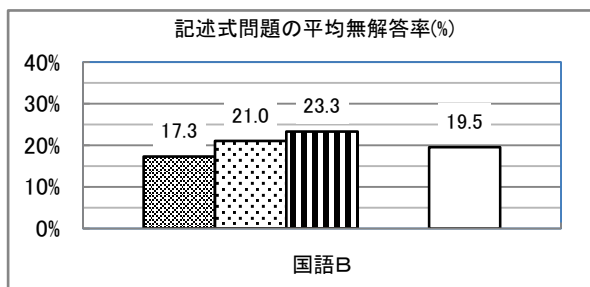


【中学校】

* 質問 26：生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしていますか(新規)

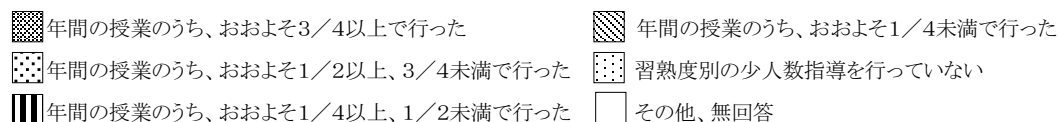


* 質問 30：学習方法(適切にノートをとるなど)に関する指導をしていますか(新規)

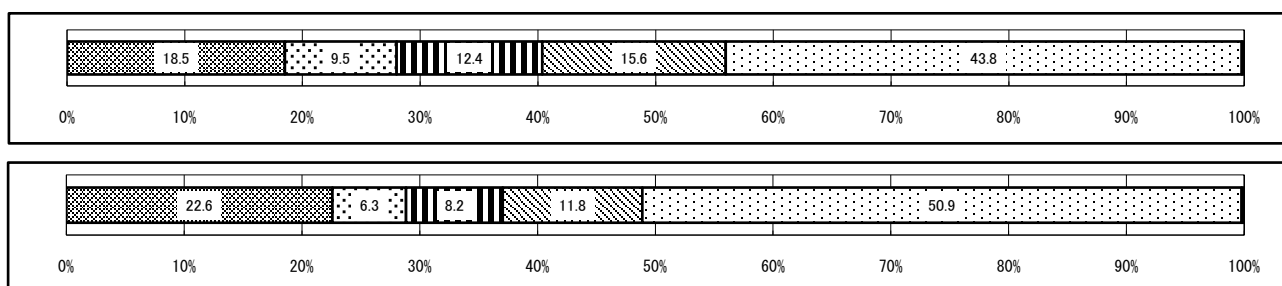


<習熟度別少人数指導>

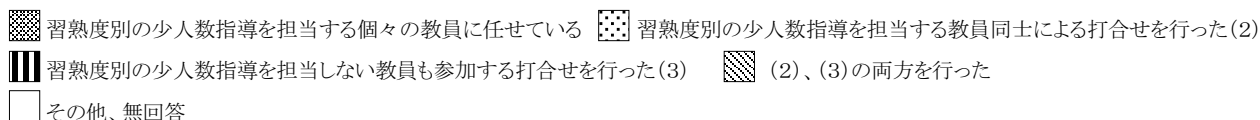
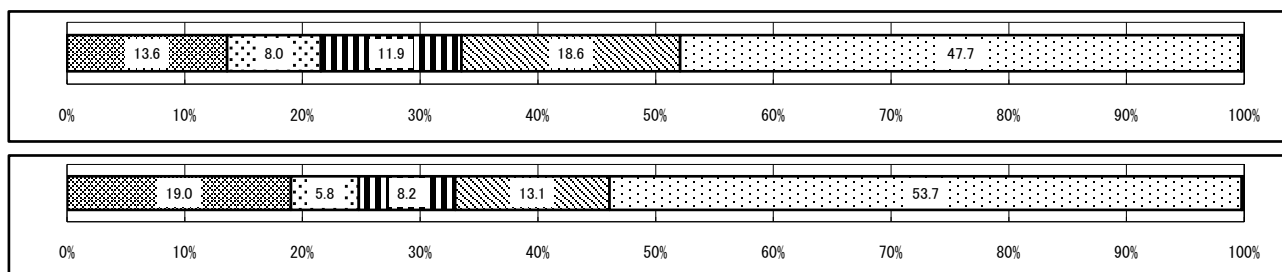
- 算数・数学の授業で、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行った学校の割合は、小学校は約 56%、中学校は約 49%である。
- 算数・数学の授業で、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行った学校の割合は、小学校は約 52%、中学校は約 46%である。
- 算数・数学の授業で習熟度別の少人数指導を行った学校においては、指導計画や教材等の検討・決定について、担当する教員同士による打合せを行った学校の割合が、小学校は約 74%、中学校は約 72%である。また、担当する個々の教員に任せている学校の割合は、小学校は約 11%、中学校は約 13%である。



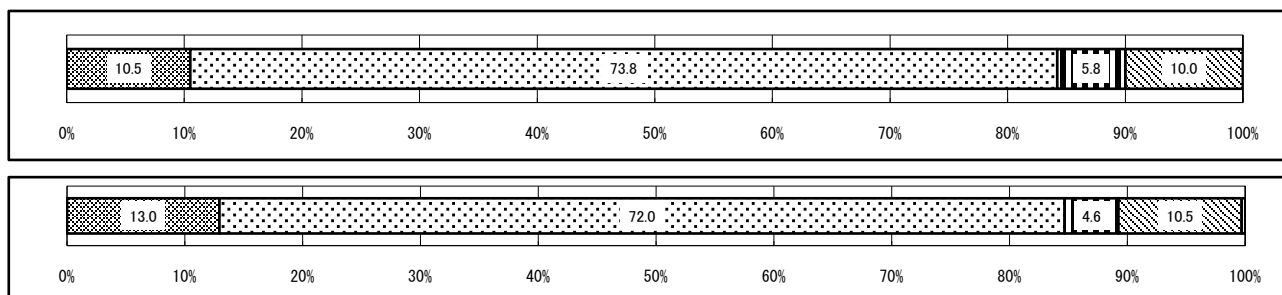
* 質問 47：算数・数学の指導として、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか(新規)【上段：小学校、下段：中学校】



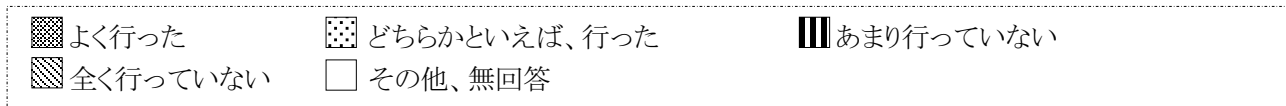
* 質問 48：算数・数学の指導として、習熟の早いグループに対して発展的な内容について少人数による指導を行いましたか(新規)【上段：小学校、下段：中学校】



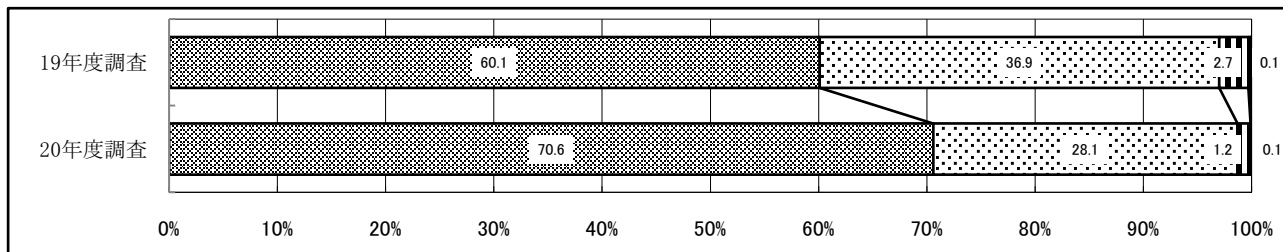
* 質問 49：算数・数学の指導として、少人数による指導を行うにあたり、どのように指導計画や教材等の検討・決定を行いましたか(母数：習熟度別の少人数指導を行った学校)(新規)【上段：小学校、下段：中学校】



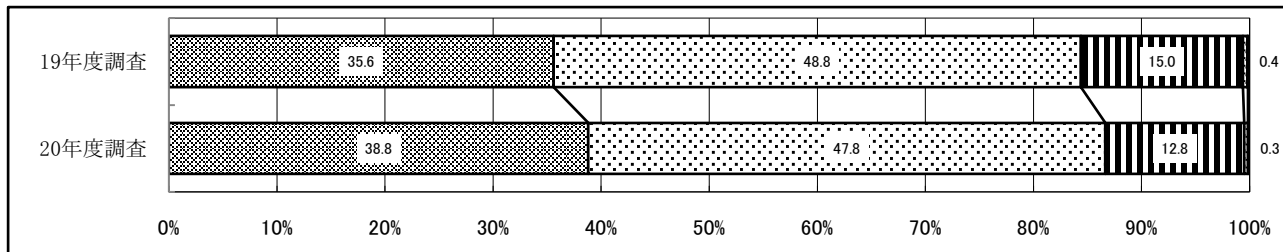
○国語・算数（数学）の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた学校の割合は、19年度と比べやや高くなっている。



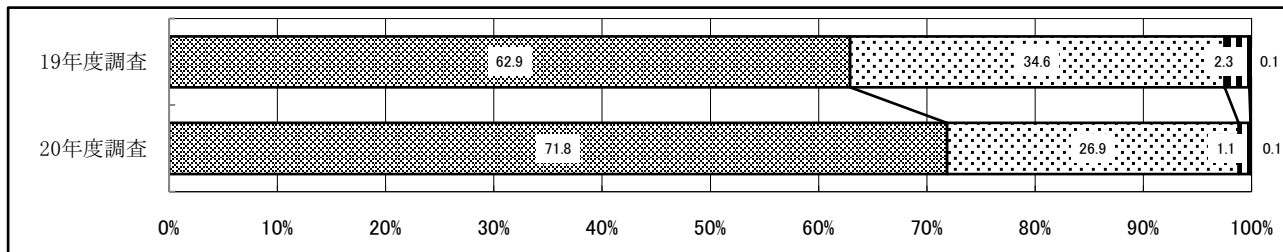
【小学校】*質問 70：国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



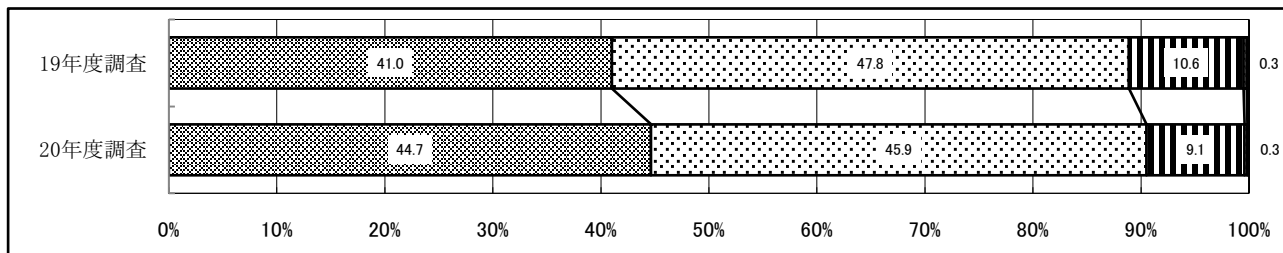
【中学校】*質問 68：国語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



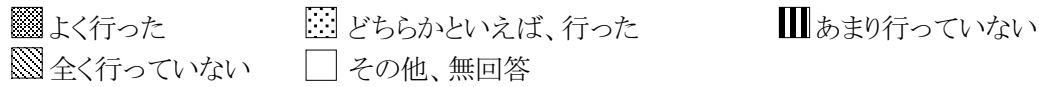
【小学校】*質問 76：算数の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



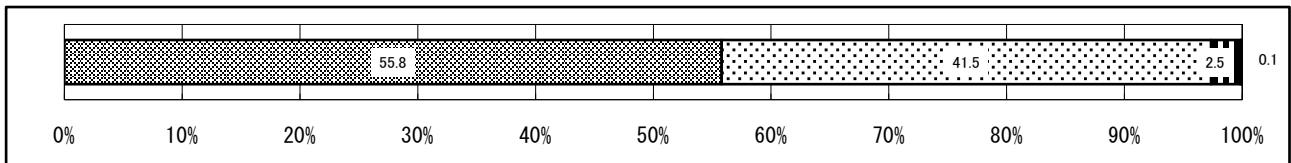
【中学校】*質問 74：数学の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



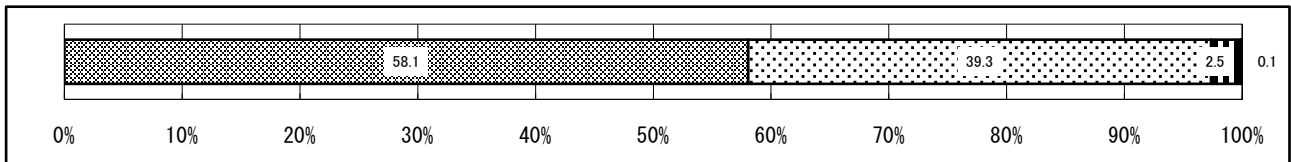
○国語・算数（数学）の指導として、児童生徒に与えた家庭学習の課題について、評価・指導を行った学校の割合は、小学校は約97%、中学校は約94%である。



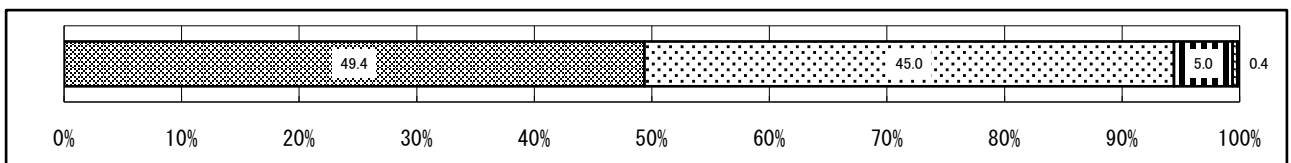
【小学校】*質問 75：国語の指導として、児童が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか（新規）



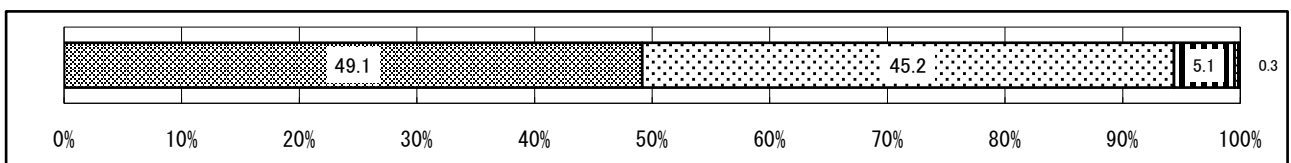
【小学校】*質問 81：算数の指導として、児童が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか（新規）



【中学校】*質問 73：国語の指導として、生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか（新規）

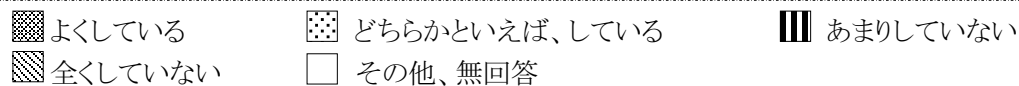


【中学校】*質問 79：数学の指導として、生徒が行った家庭学習の課題について、評価・指導を行いましたか（新規）

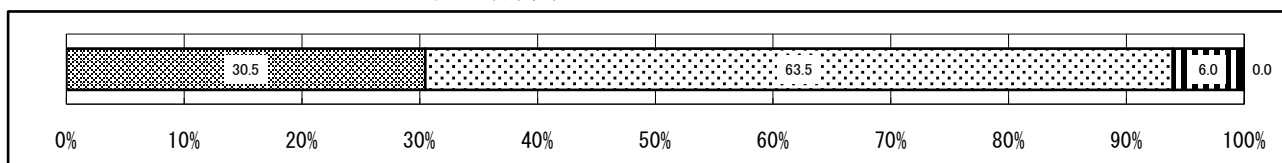


<教職員の取組>

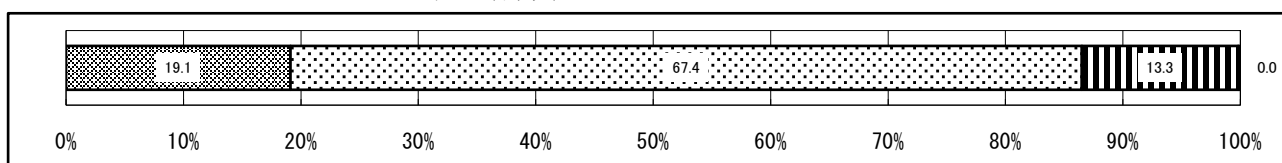
- 教職員が校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている学校の割合は、小学校は約 94%、中学校は約 87%である。
- 指導計画の作成にあたって、教職員同士が協力し合っている学校の割合は、小学校は約 96%、中学校は約 91%である。
- 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっている割合は、小学校は約 98%、中学校は約 97%である。



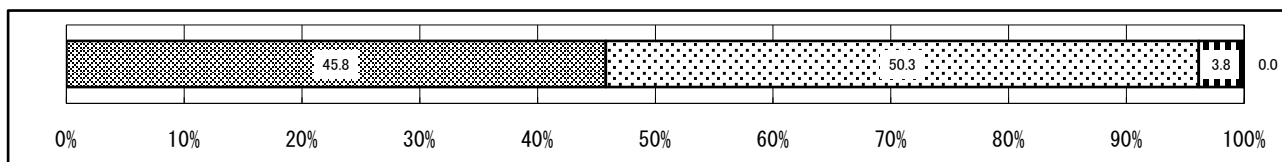
【小学校】*質問 92：教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか(新規)



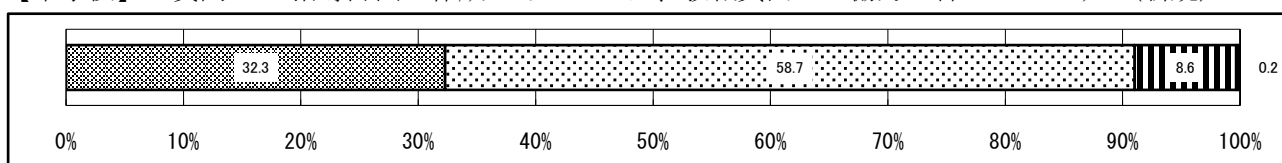
【中学校】*質問 90：教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか(新規)



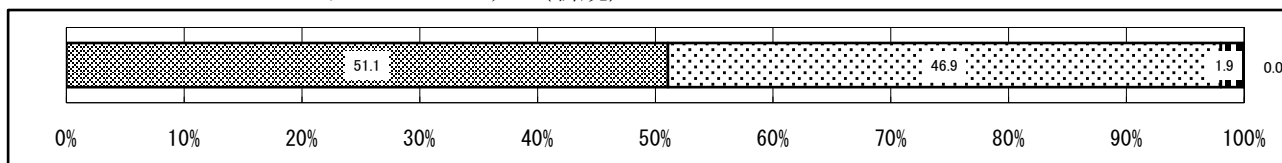
【小学校】*質問 93：指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか(新規)



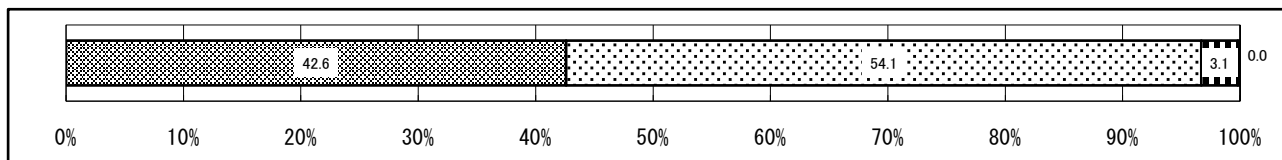
【中学校】*質問 91：指導計画の作成にあたっては、教職員同士が協力し合っていますか(新規)



【小学校】*質問 94：学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっていますか(新規)

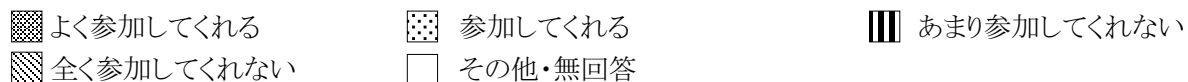


【中学校】*質問 92：学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組にあっていますか(新規)

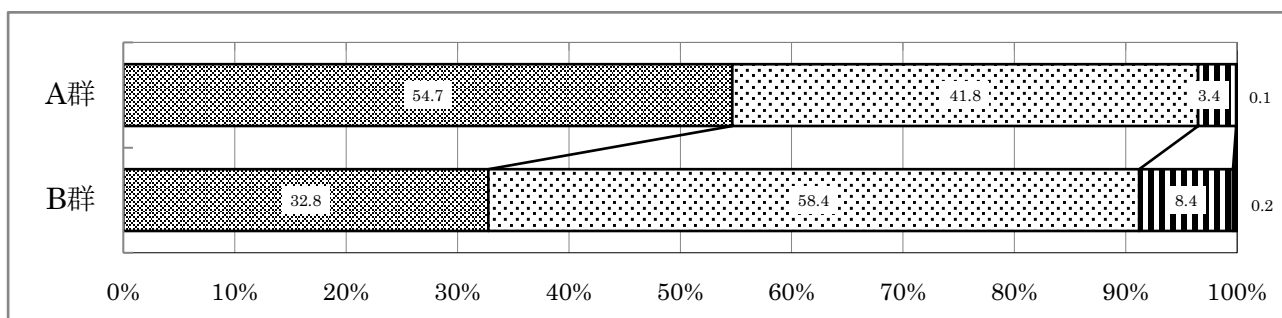
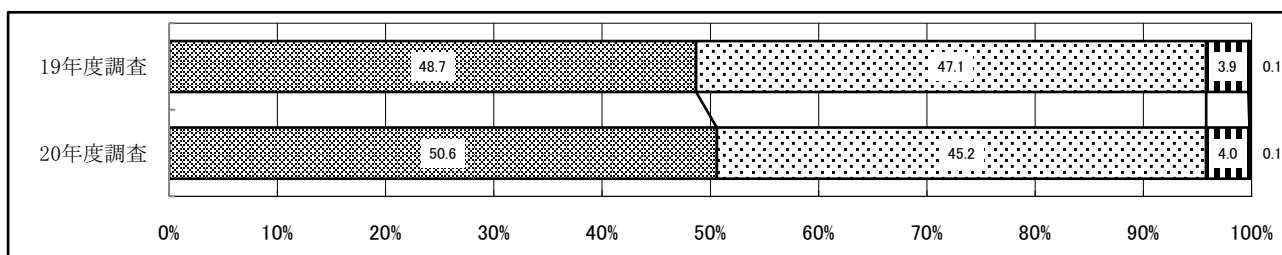


＜地域の人材の活用・施設等の活用・開かれた学校＞

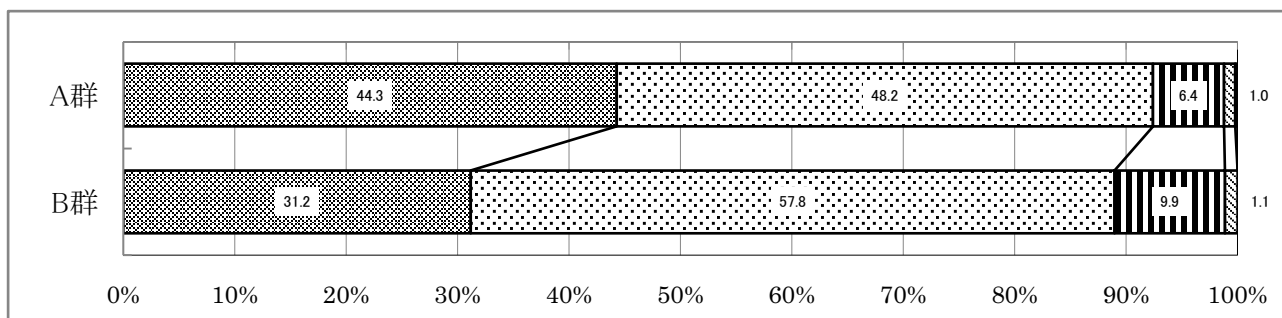
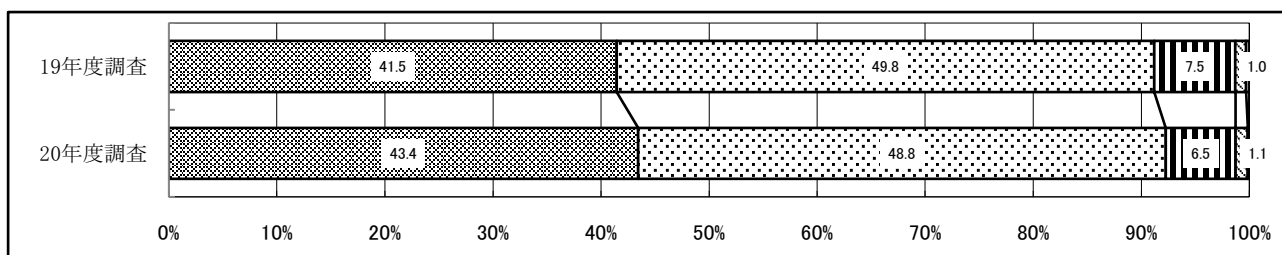
- P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれると回答している学校の割合は、19年度と比べ大きな変化は見られない。
- 平均正答率が5ポイント以上全国平均を上回る学校（A群）の方が、5ポイント以上全国平均を下回る学校（B群）より、P T A や地域の人が学校の諸活動に参加してくれると回答している割合が高い傾向が見られる。



【小学校】*質問 69：P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか



【中学校】*質問 67：P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加してくれますか



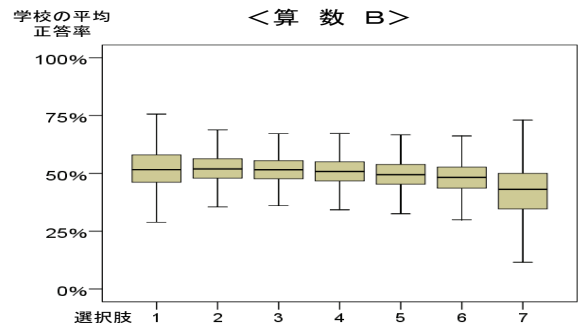
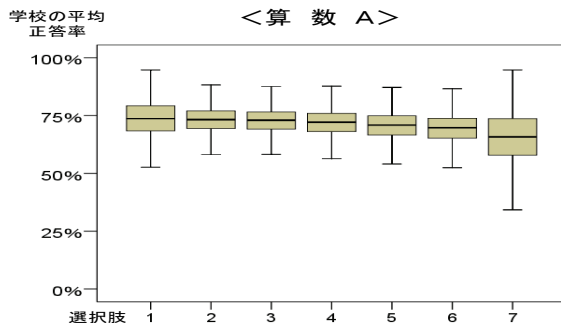
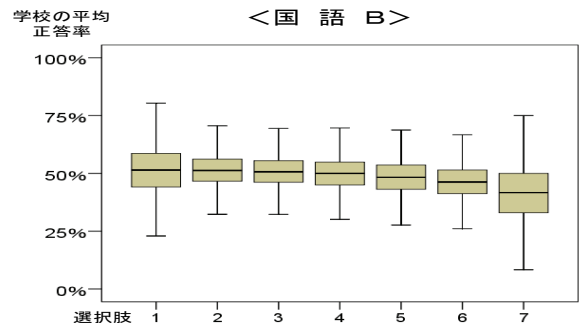
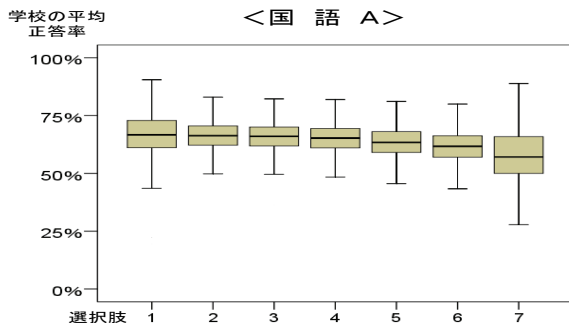
<就学援助>

○就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校の方が、その割合が低い学校よりも平均正答率が低い傾向が見られる。

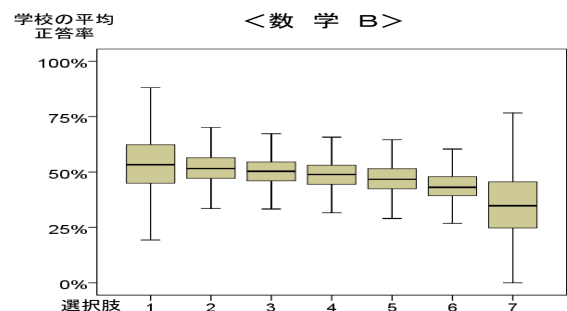
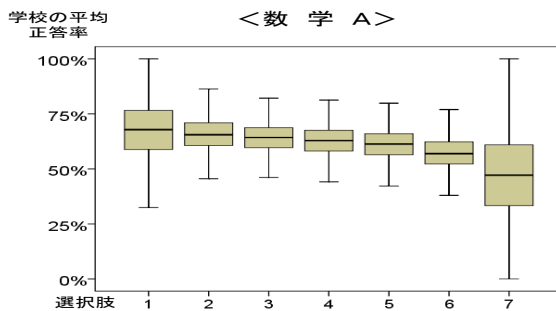
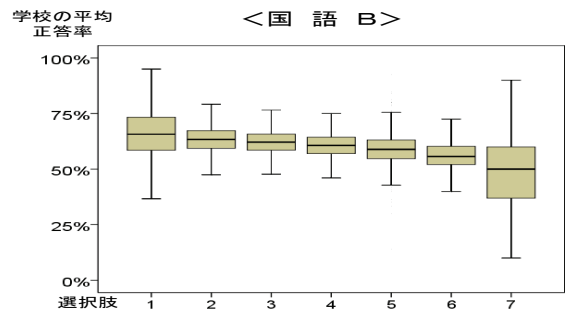
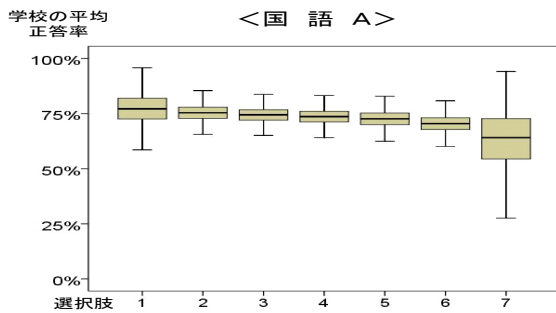
○就学援助を受けている児童生徒の割合が高い学校は、各学校の平均正答率のばらつきが大きく、その中には、平均正答率が高い学校も存在する。

選択肢1 在籍していない 選択肢2 5%未満 選択肢3 5%以上、10%未満
 選択肢4 10%以上、20%未満 選択肢5 20%以上、30%未満 選択肢6 30%以上、50%未満
 選択肢7 50%以上

【小学校】*質問 14：第6学年の児童のうち、就学援助を受けている児童の割合は、どれくらいですか



【中学校】*質問 14：第3学年の生徒のうち、就学援助を受けている生徒の割合は、どれくらいですか

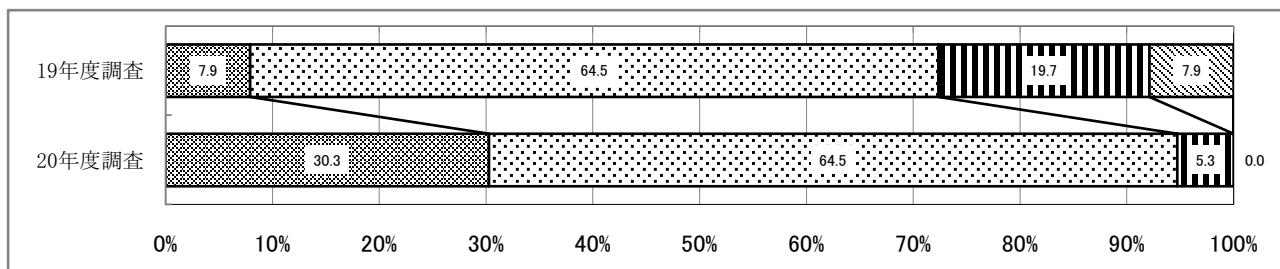


<D層の児童生徒の割合が10ポイント以上減少した学校にみられる傾向>

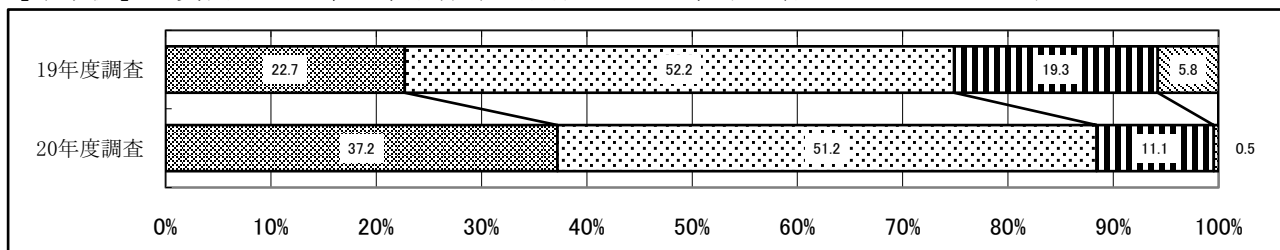
○19年度と比べD層（※）の児童生徒の割合が、全ての教科において10ポイント以上減少した学校では、児童生徒は授業中の私語が少なく落ち着いている、国語の指導として書く習慣を付ける授業を行っている、と回答している割合が増加している。

そのとおりだと思う
 どちらかといえば、そう思う
 どちらかといえば、そう思わない
 そう思わない
 その他、無回答

【小学校】*質問12：児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

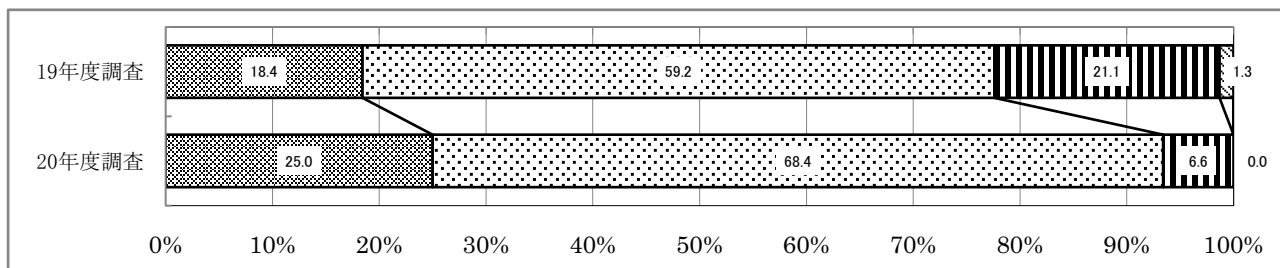


【中学校】*質問12：生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

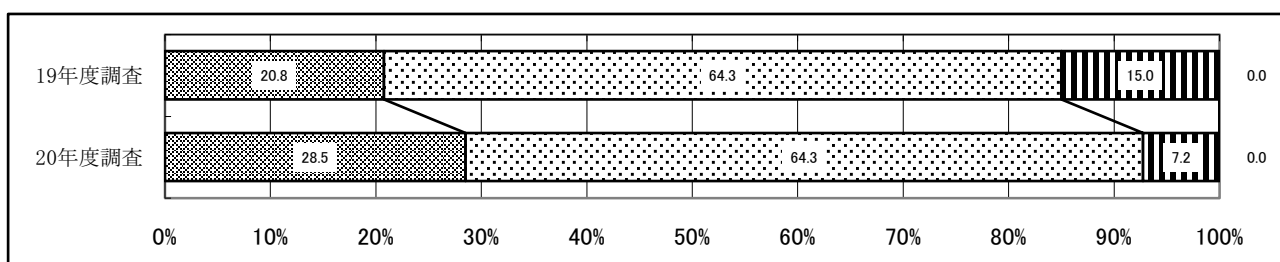


よく行った
 どちらかといえば、行った
 あまり行っていない
 全く行っていない
 その他、無回答

【小学校】*質問54：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか



【中学校】*設問54：国語の指導として、書く習慣を付ける授業を行いましたか



※各層は児童生徒を正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行っており、上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層と呼称する。なお、正答数が同じ場合は、上位の層に含む。

※D層の比較のグラフにおいては、30人以上の児童生徒が調査を実施した公立学校（特別支援学校を除く）について分析している。

<全国学力・学習状況調査の活用>

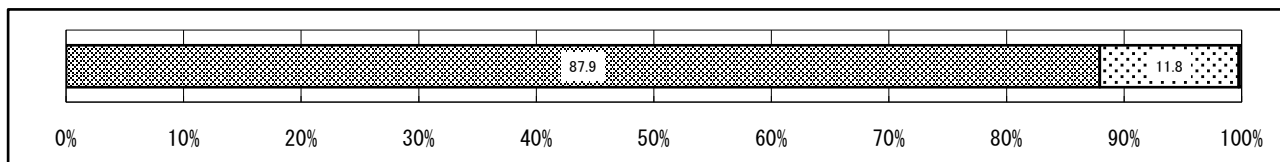
○平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用した学校は、小学校は約 88%、中学校は約 82%である。

■ はい

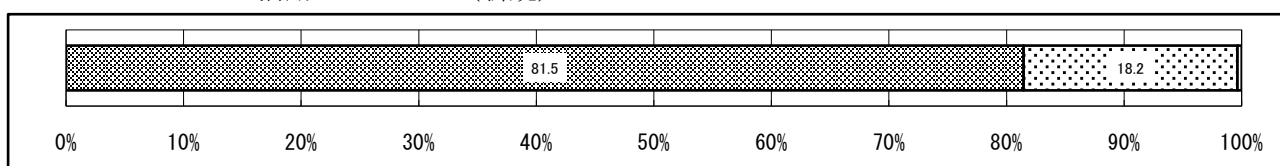
□ いいえ

□ その他、無回答

【小学校】質問 40：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか（新規）



【中学校】質問 40：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか（新規）



○平成 19 年度全国学力・学習状況調査を活用した学校（指導計画に反映、具体的な教育指導の改善に活用、調査対象学年・教科だけでなく学校全体で活用、調査問題を授業の中で活用、指導計画等の検討にあたり、調査結果を参考にした学校）は、小学校は約 97%、中学校は約 95%である。

*質問 39：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を分析し、指導計画等に反映させましたか（新規）

*質問 40：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の結果を分析し、具体的な教育指導の改善に活用しましたか（新規）

*質問 41：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で活用しましたか（新規）

*質問 42：平成 19 年度全国学力・学習状況調査の調査問題を授業の中で活用しましたか（新規）

*質問 43：学校の指導計画や取組を検討するにあたり、平成 19 年度全国学力・学習状況調査の調査結果や報告書の内容を参考にしましたか（新規）

上記の質問に対して

■ 全て肯定的な回答の学校

□ 肯定的な回答が4つの学校

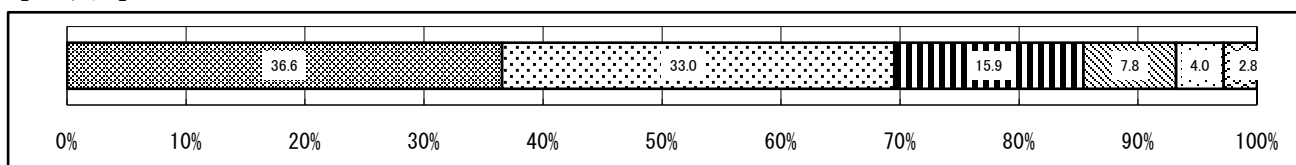
■ 肯定的な回答が3つの学校

■ 肯定的な回答が2つの学校

□ 肯定的な回答が1つの学校

■ 全く肯定的な回答がない学校

【小学校】



【中学校】

